

資料保07.1 6池草刈り・
ヤナギ剪定 県管理区域



6池通路 草刈り 前後



6池 水際 ガマ刈り 前後



6池 水際 ガマ刈り 前後



6池 水際 ガマ刈り 中



ヤナギ剪定 前後



外来種 シダレヤナギ伐木



ヤナギ剪定中



ヤナギ手入れ 前後



ヤナギ剪定 前後



ヤナギ剪定 前後



ヤナギ剪定 前後



刈ったガマ集草



6池ガマ刈り中



シダレヤナギ除去



ヤナギの手入れ

平面図 3

大柏第一調節池緑地

平成29年度 県単都市河川管理委託(除草工)
除草工(調節池) A=16,900m²

- 草刈り<平成29年>
- 第1回目
(実施時期目安:6月20日~6月30日)
・赤:750m² ハンドガイド
- 第2回目
(実施時期目安:7月20日~8月10日)
・赤:750m² ハンドガイド
・緑:350m² ハンドガイド
・茶:800m² ハンドガイド
・青:3,200m² ハンドガイド
・黄:3,850m² 肩掛け
- 第3回目
(実施時期目安:9月1日~9月10日)
・赤:750m² ハンドガイド
・緑:350m² ハンドガイド
・茶:800m² ハンドガイド
・紫:5,300m² ハンドガイド
- 計:16,900m²

①市川市の管轄の為草刈は不要
②野鳥調査の結果、通路の使用禁止

県単都市河川管理委託(除草工)	
平成29年度	
河川名	一級河川利根川水系 大柏川外
工事箇所	市川市 北方町 外
図面種類	平面図
図面番号	全3葉のうち第3号
縮尺	内容表
千葉県葛南土木事務所	
課長	設計者氏名

資料保09.1 半島 草刈り・ヤナギ伐木 県管理区域



2月から枯れ草刈り前後 4月までにコチドリの繁殖環境を整備(半島元から)



草刈り 集草 シバ抜き 鳥類繁殖地の観察へ



2月から枯れ草刈り前後 4月までにコチドリの繁殖環境を整備



5月



6月



8月



9月



11月

- ・5, 6, 8, 9, 11月に維持管理道の草刈り
- ・5月はコチドリの繁殖状況を観察しながら、9月はノビタキ刈りを行う



暴れた枝の除去



高茎植物刈り



リリーフバルブ周りの除草



縁の除草 砂利やシートの具合を確認する



半島 枯れ草刈り前後 集草



半島 枯れ草刈り 集草



外来種 シダレヤナギ伐木

資料保10.1 苗木捕食

大柏第一調節池緑地

コナラ枯補植 3本

2017年度 苗木移植

コナラ (柏井産) 4本

エノキ (緑地自生) 1本

コナラ (2016年度移植枯れ分) 3本

アオキ 4本

エノキ 1本



エノキ



コナラ



コナラ



コナラ



コナラ



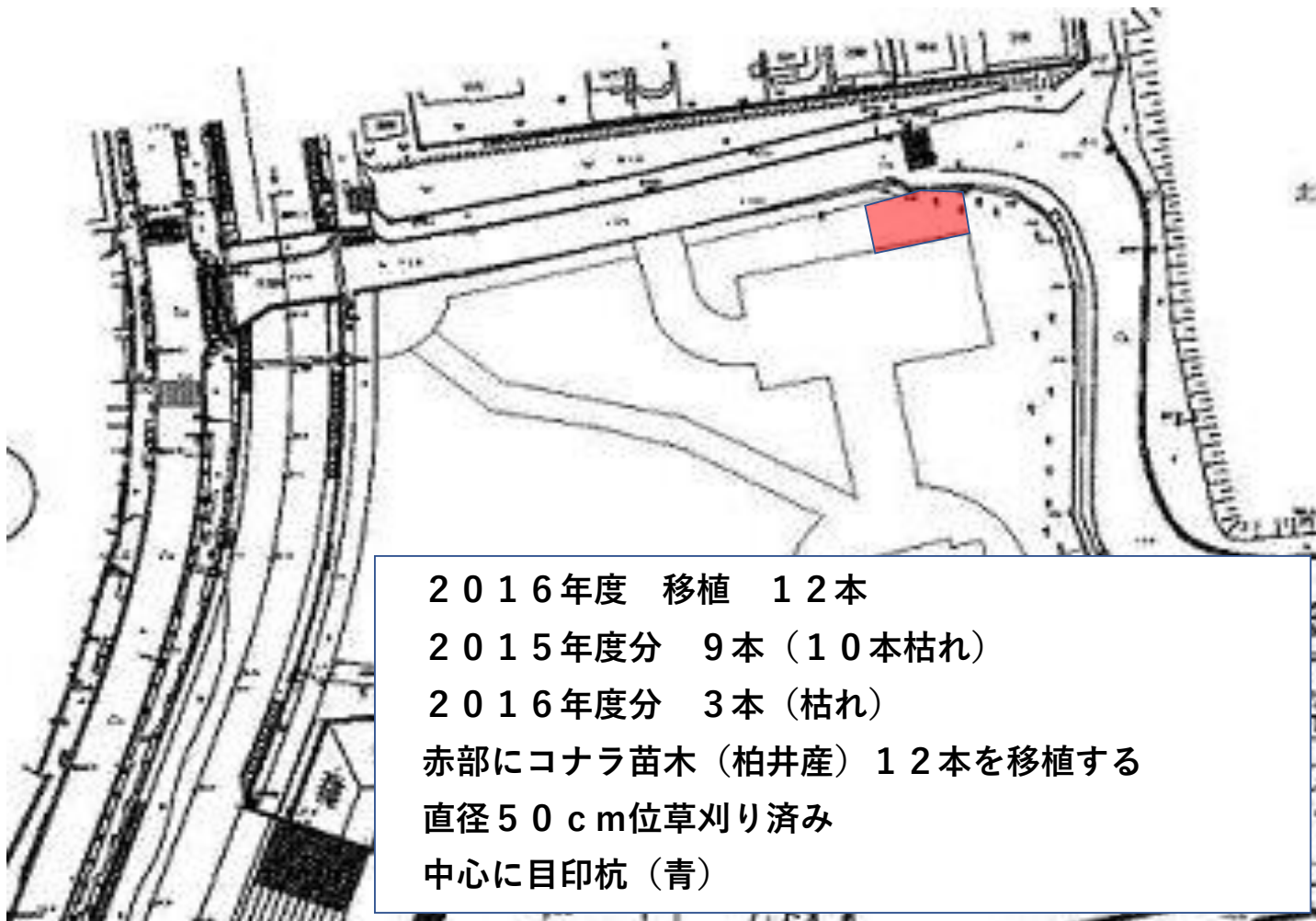
コナラ 補植



コナラ 補植



コナラ 補植



資料保10.2 枯れ木調査結果

大柏第一調節池緑地

2017年度 枯れ木調査

タニウツギ 1本

アオキ 2本

ニシキギ 2本

タニウツギ 1本

アオキ 1本

ニシキギ 1本

ニシキギ 1本

アオキ 1本



タニウツギ



アオキ



ニシキギ



アオキ



ニシキギ

ドウダンツツジ 2本

ネズミモチ 1本

マテバシイ 1本

アオキ 1本

2015年度 枯れ木調査

ネズミモチ 1本

トベラ 2本

アオキ 2本

ドウダンツツジ 2本

コナラ 3本

イロハモミジ 1本

ヌルデ 1本

2016年度 枯れ木調査

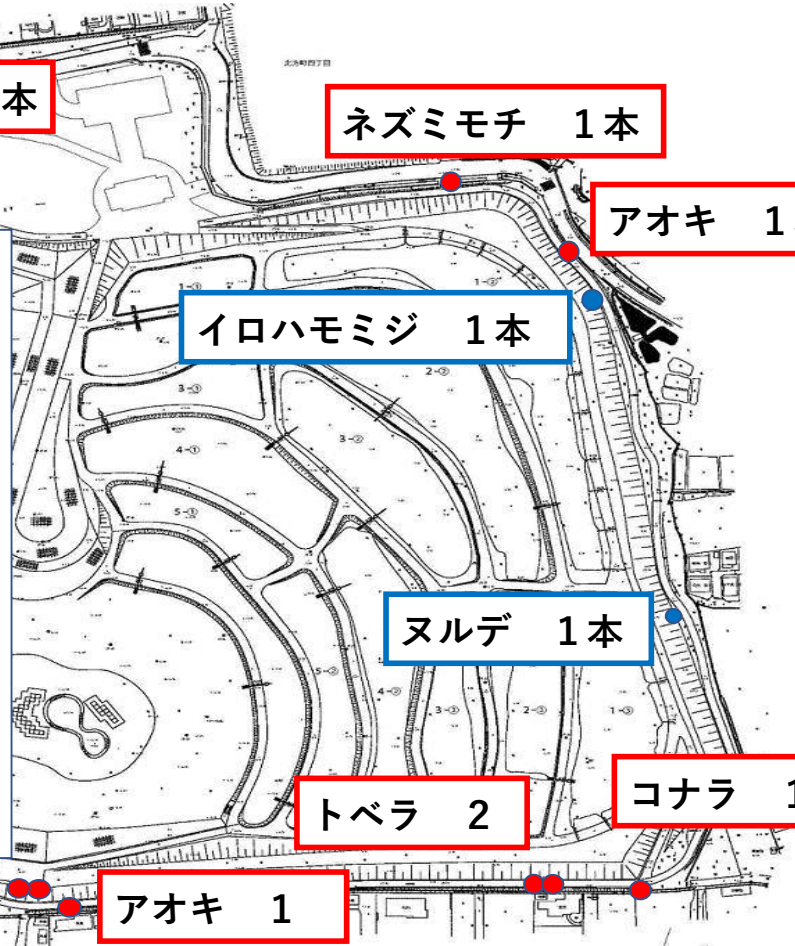
マテバシイ 1本

トベラ 2

コナラ 1

コナラ 2

アオキ 1



資料保 12.1 主な外来種の詳細

☆ オランダタガラシ(アブラナ科オランダタガラシ属)

清流を好んで生えることから、山里まで入り込み元々生える希少種を脅かす恐れがある。わずかな枝があればどこからも根を出し繁殖する。



☆ ウラジロチチコグサ(キク科ハハコグサ属) 花 3月～4月

関東地方が最も繁殖している雑草と言われている。開園前は、1-②池東側に見られていたが、池全体に侵入している。



☆ ナガミヒナゲシ(ケシ科ケシ属) 花 4月～5月

細長い“さく果”の中に細かい種がびっしり入っており、種子の発芽率も良く、猛烈な繁殖力で急速に広がっているオレンジ色の外来ポピー。現在外周路の土手に入り込んでいる。



☆ ヘラオオバコ(オオバコ科オオバコ属) 花 5月～8月

繁殖力が非常に強く、開園前は北部広場にのみ確認されいたが、現在池内にかなり侵入しているのを確認している。



☆ ハナハマセンブリ 花 6月～8月

細かい種がびっしり入っており、池内に猛烈に広がっている。水に浸かっても元気に繁殖しているため、発芽時に除去する。



☆ ユメノシマガヤツリ(カヤツリグサ科カヤツリグサ属) 花 8月～10月

1982年東京都の夢の島で発見され、大柏川第一調節池緑地にも開園して1年目より、2-①池の1-①池側に繁茂していた。

☆ キシュウスズメノヒエ(イネ科)

1945年以降急速に広がったもので、水田に侵入して、強害雑草となっているだけあり、多年草本で、茎は地上や水中を這ってマット状に広がり、節から枝を出して高さ50cmほどになる。

◇ オオブタクサ

茎の高さは1mから3mに達する。葉は茎に対生し、形は掌状に3から5裂し、縁は鋸歯状、葉の表裏ともざらつく。花期は8月から9月で、茎の上部に雄頭花が総状につき、その下に雌頭花がつく。

同じ属の帰化植物であるブタクサとともに花粉症の原因として知られ、日本国内ではスギ、ヒノキに次ぐ患者数が存在するとされる。



◇ ヤセウツボ

1937年(昭和12年)に千葉県で初めて確認されたという帰化植物。畑地、牧草地、道端などに自生する。

主にマメ科植物のムラサキツメクサ(アカツメクサ)やシロツメクサ、コメツブツメクサなどの根に寄生し、寄生根で養分を吸収して成長し花を咲かせる寄生植物。そのため農作物の被害を与えることもあり、外来生物法で要注意外来生物に指定されている。

種子は宿主の根のそばでないと発芽しない。発芽した種子が定着可能な範囲は根から5mm程度。発芽しない種子は土中で長期に渡って生き延び発芽の機会を待つ。

春から初夏にかけて、茶褐色の棒のような物体が、宿主の緑色の葉影から出現する。遠目には細長いキノコのような感じに見える。



図1.1 棚池地区コドラート設置箇所

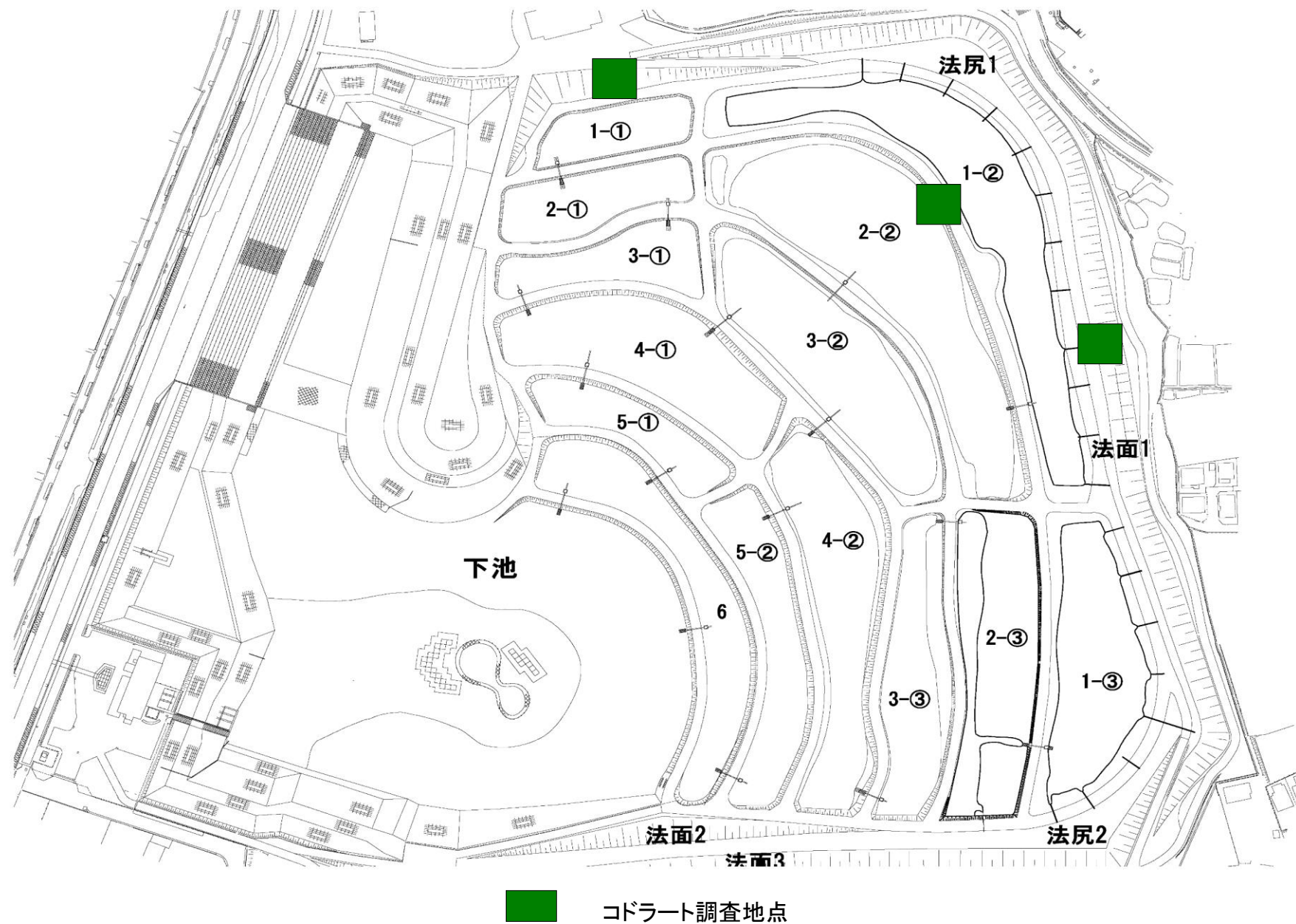


図2.1 2017年 鳥類繁殖確認図

2017 鳥類繁殖確認

ひし形・・・幼鳥確認
丸型・・・営巣(抱卵)確認
三角・・・古巣確認

赤…………カイツブリ
桃…………コチドリ
黄緑…………モズ
ベージュ…………カワラヒワ
アクア…………バン
青…………ヒヨドリ
紫…………オオヨシキリ
黄…………キジバト
灰色…………ホオジロ

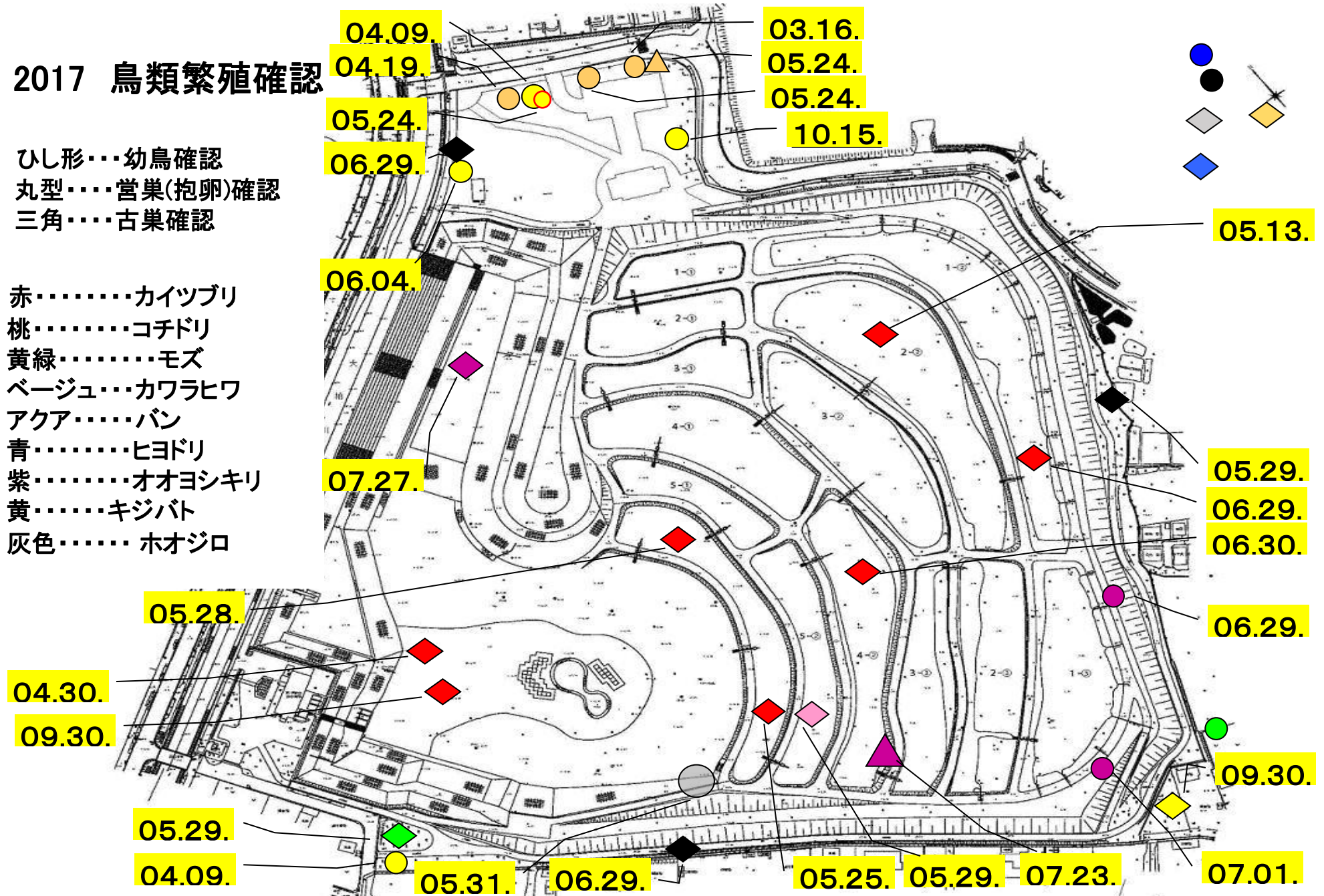


図2.2 平成29年度ビジターセンターでのツバメの抱卵、育雛、巣立ちの記録

北

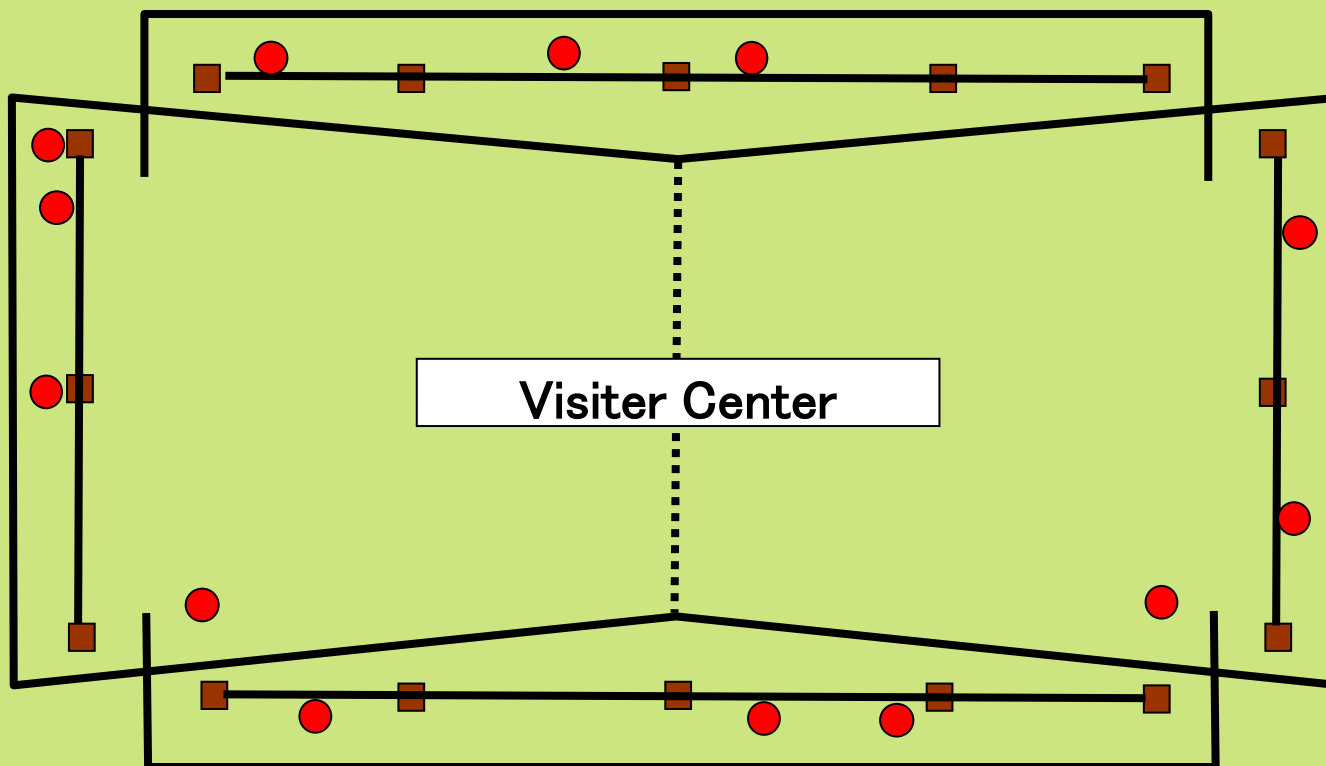
ツバメ 2017. 4. 29.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち



Visitor Center

南



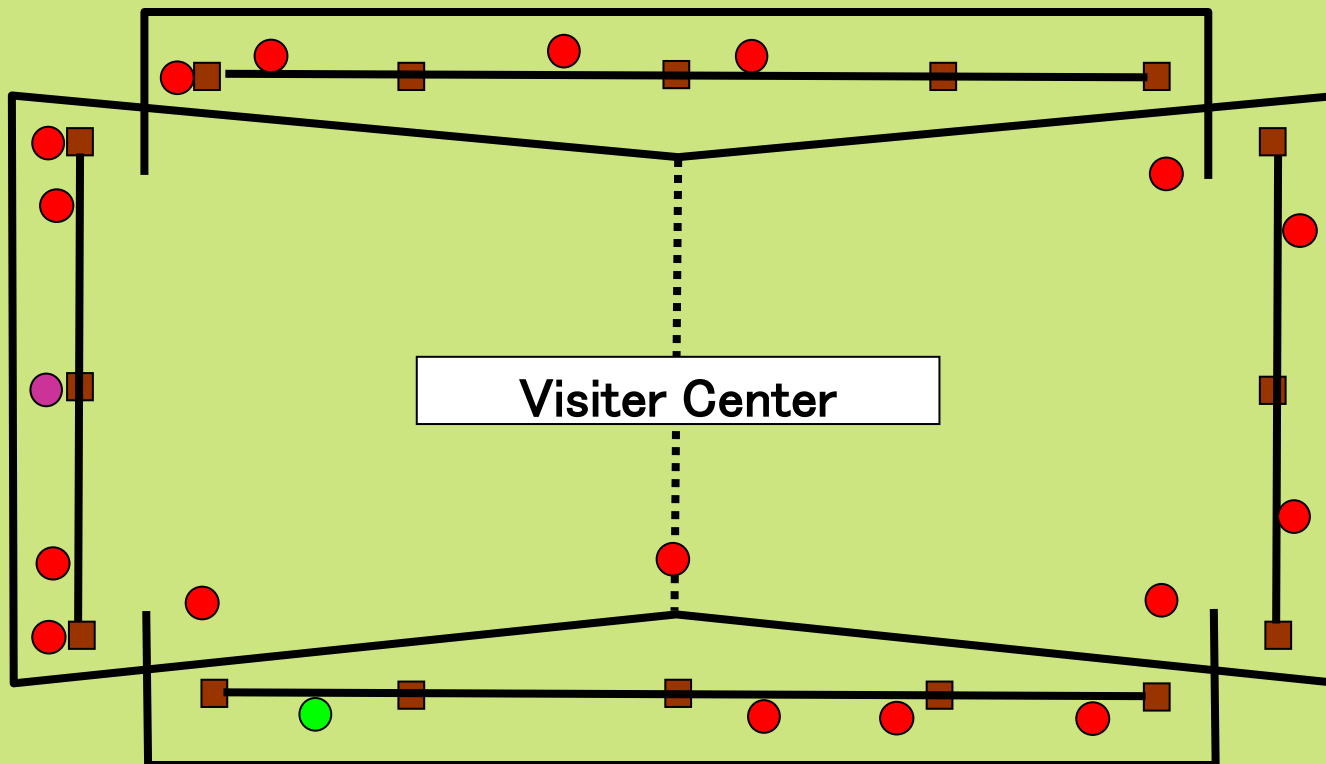
北

ツバメ 2017. 5. 13.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
-

Visitor Center

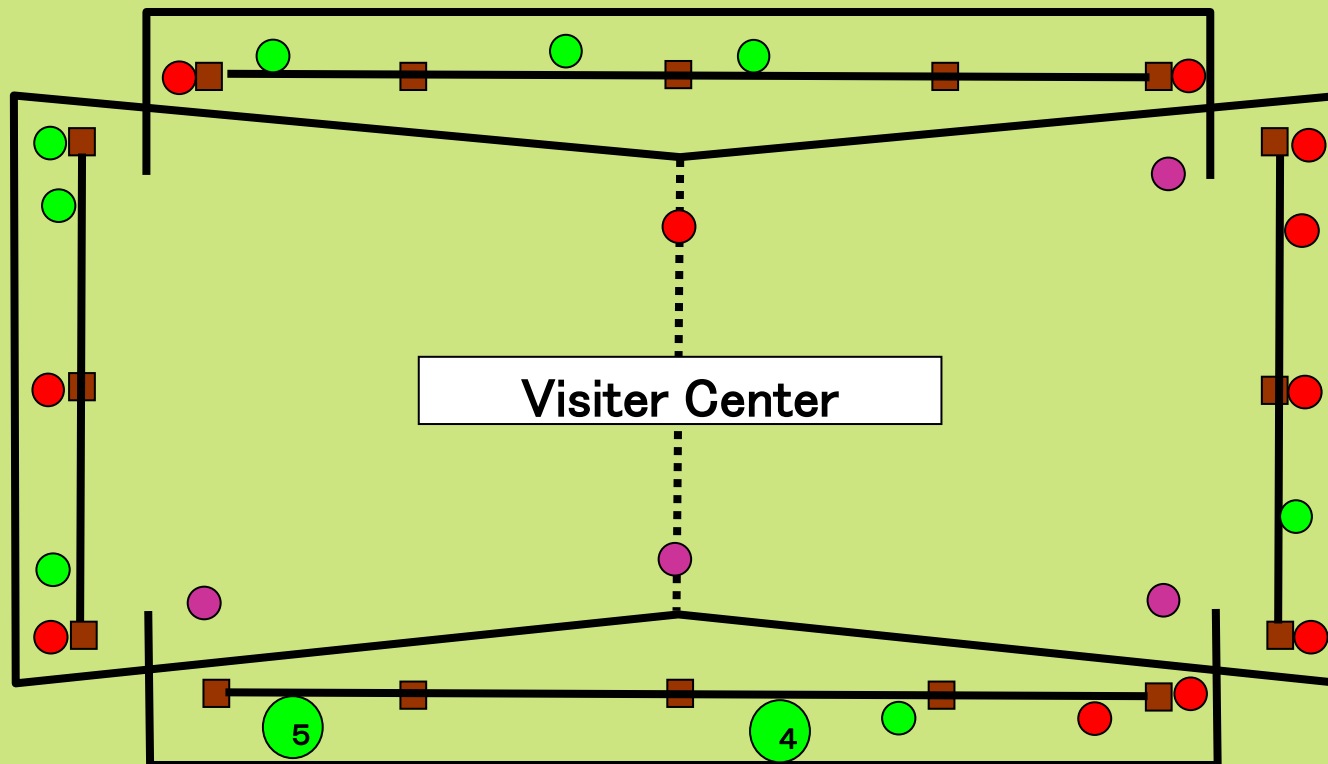
南



北

ツバメ 2017. 5. 24.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち



南

北

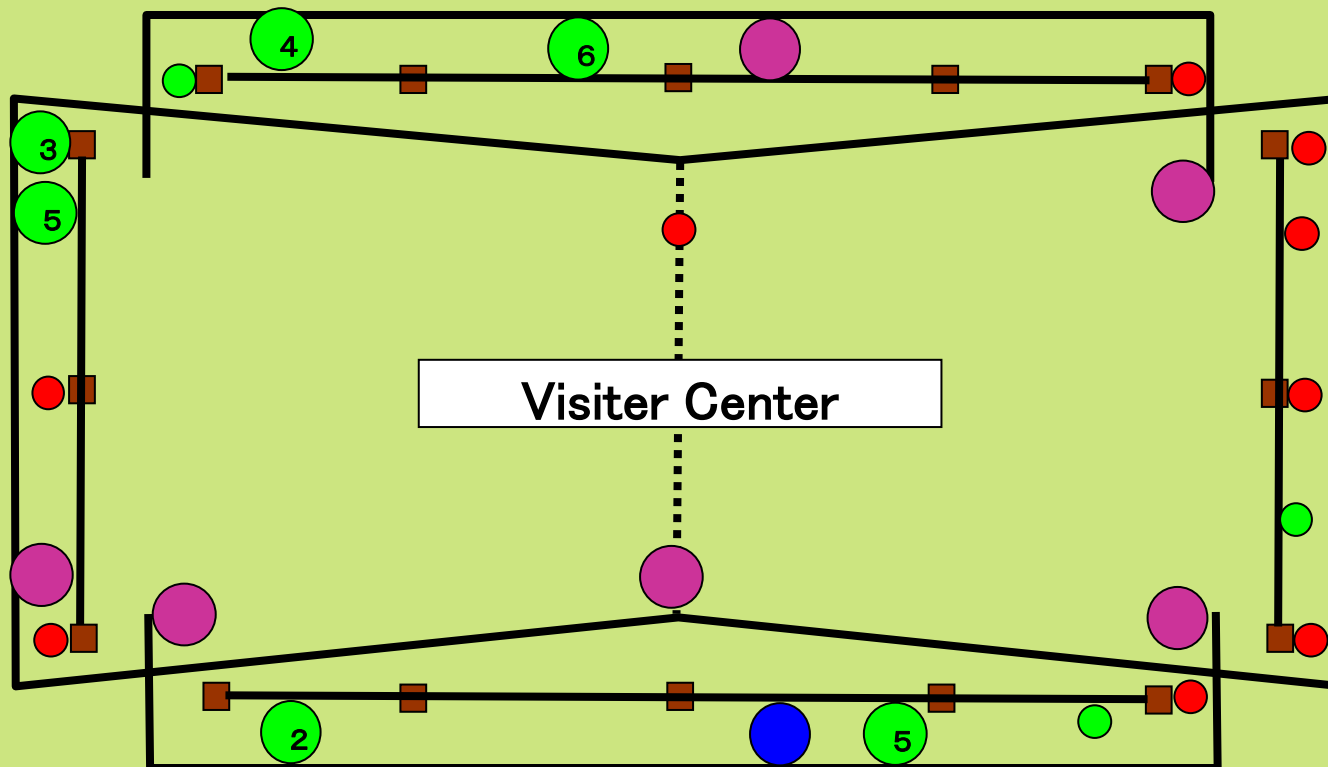
ツバメ 2017. 5. 29.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち

巣立ち数
4 + 3

Visitor Center

南



北

ツバメ 2017. 6. 03.

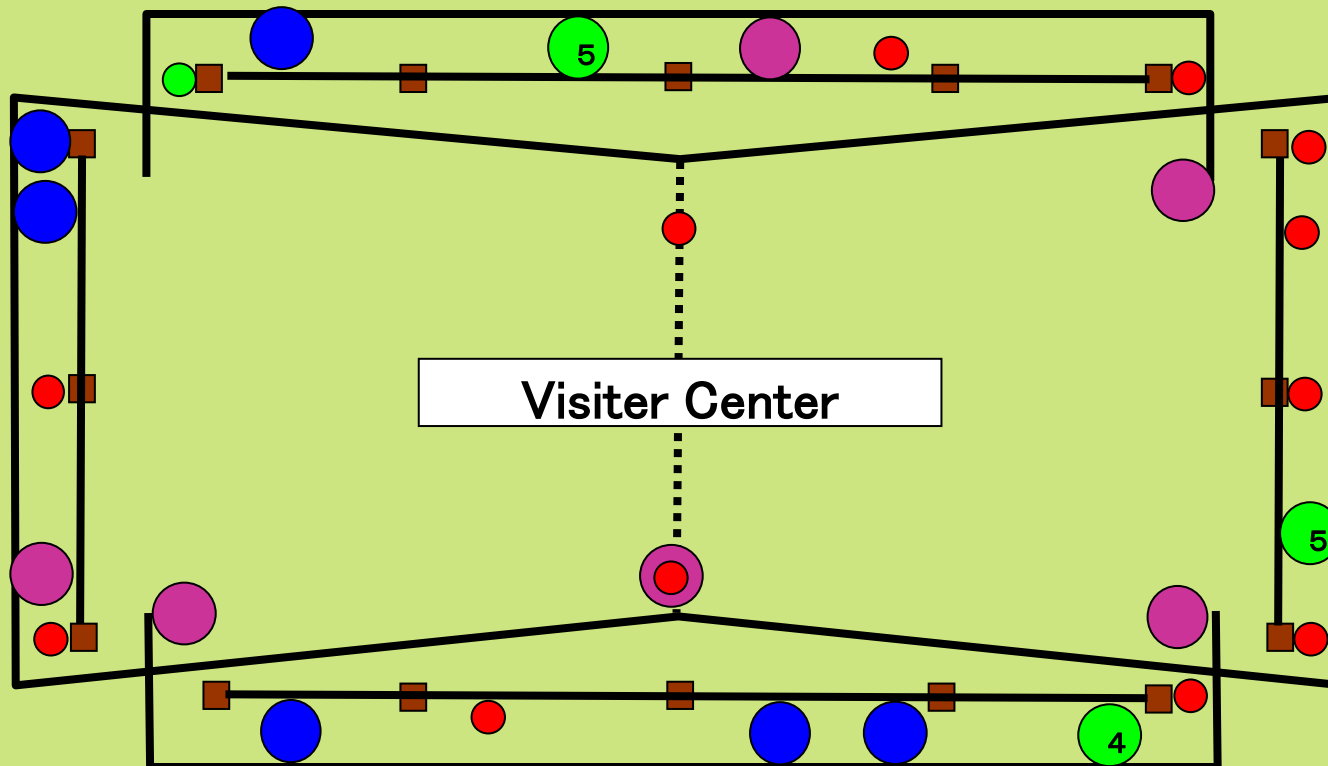
- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち



Visitor Center

巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+

南

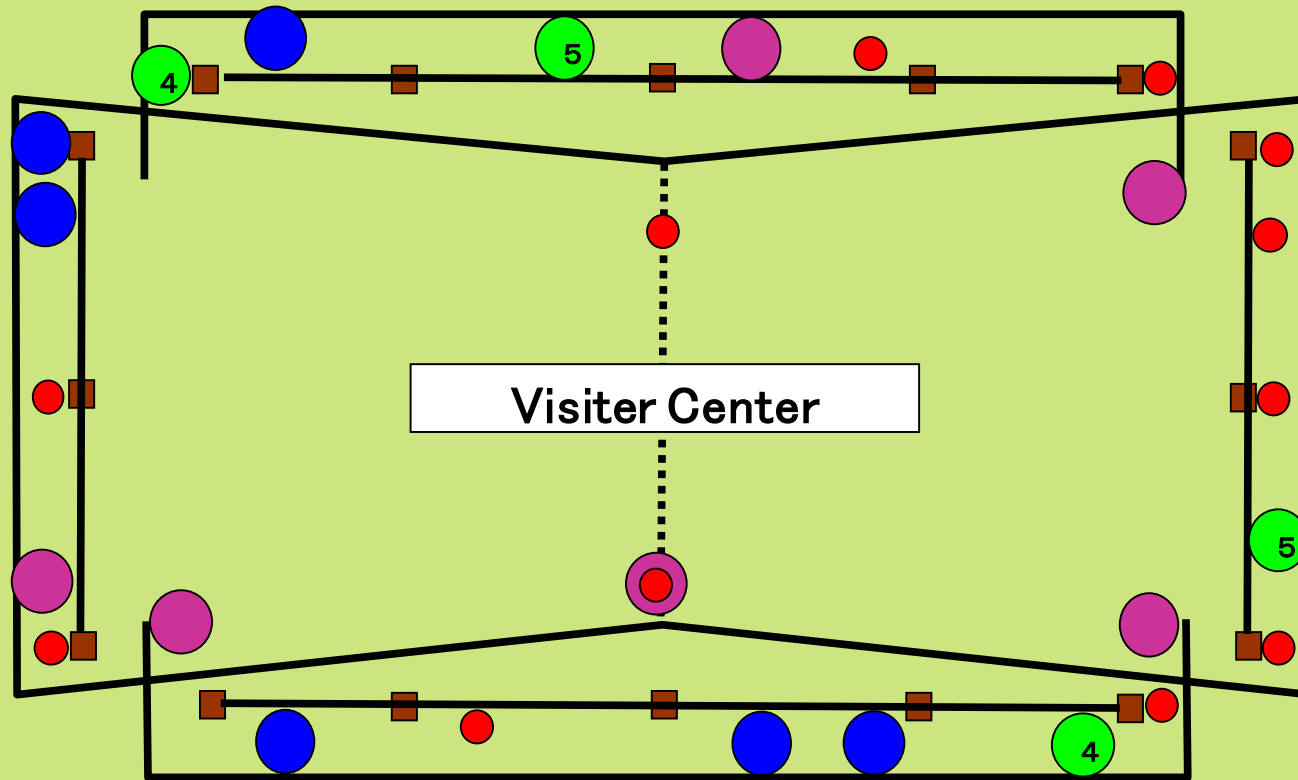


北

ツバメ 2017. 6. 05.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗

巣立ち数
4 + 3 + 4 + 1
+ 5 + 2 + 5 + 3
+



南

北

ツバメ 2017. 6. 07.

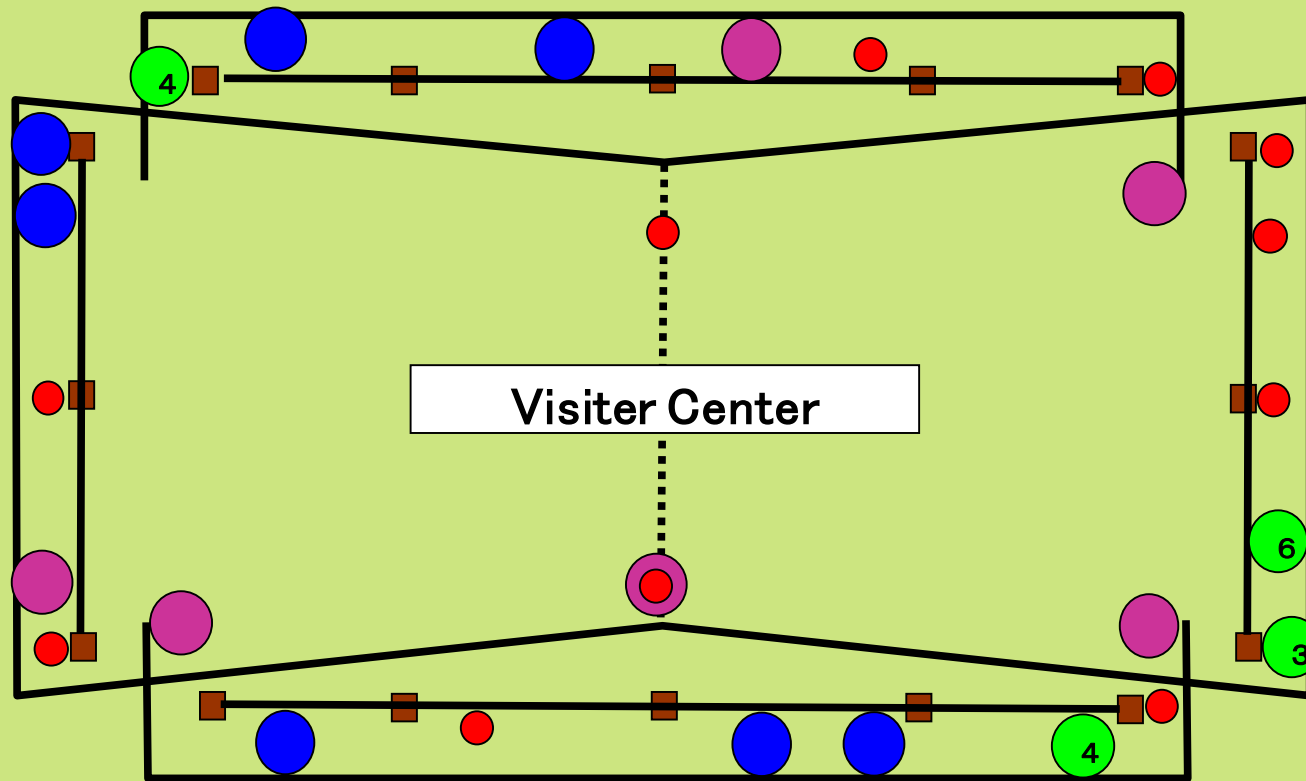
- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗



Visitor Center

巣立ち数
4 + 3 + 4 + 1
+ 5 + 2 + 5 + 3
+ 5 +

南

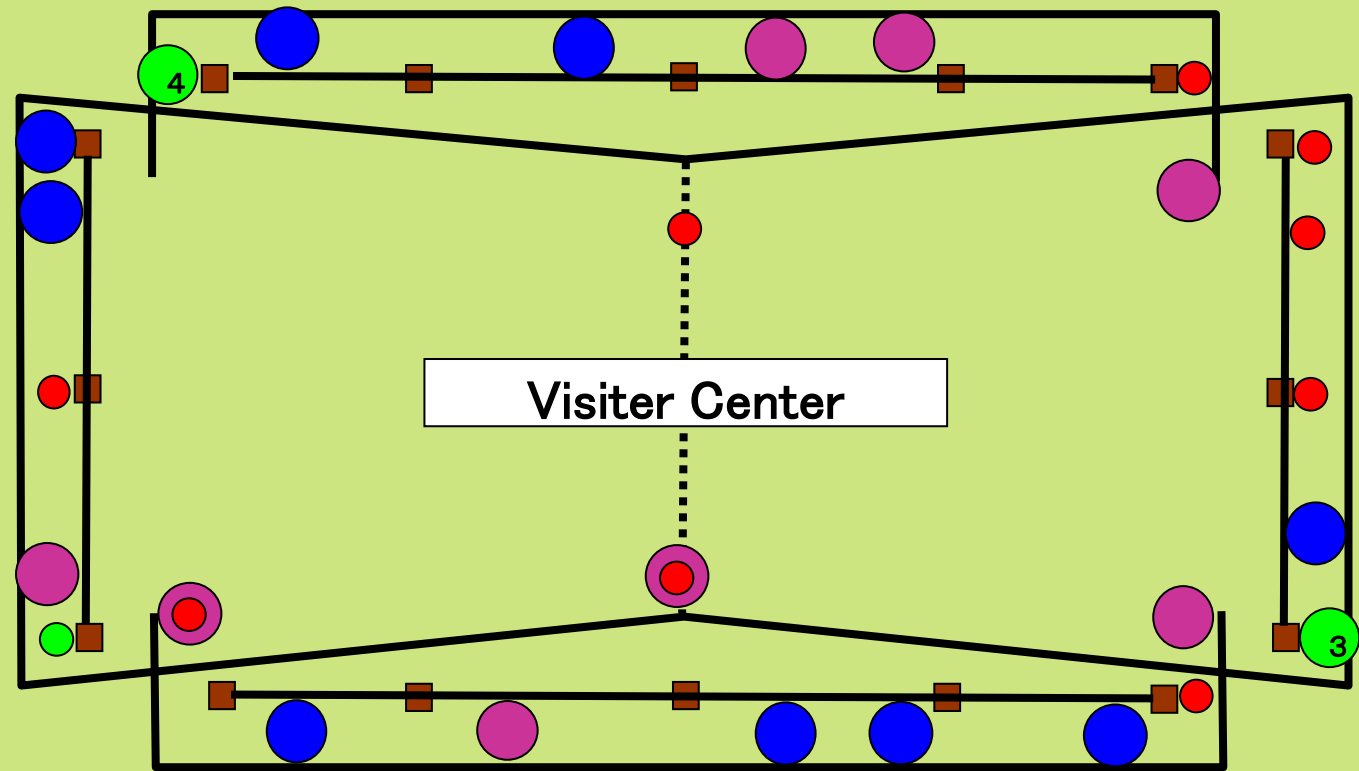


北

ツバメ 2017. 6. 12.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち

巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+

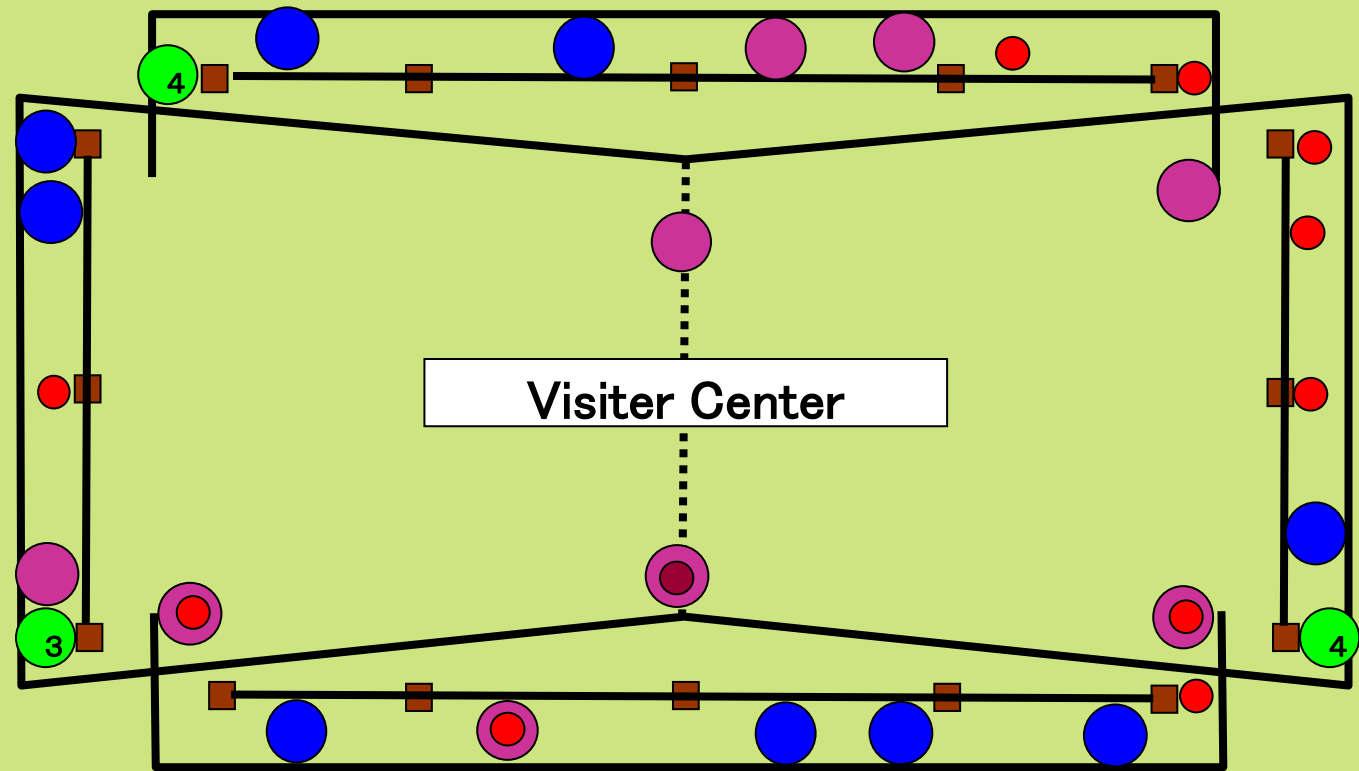


北

ツバメ 2017. 6. 18.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち

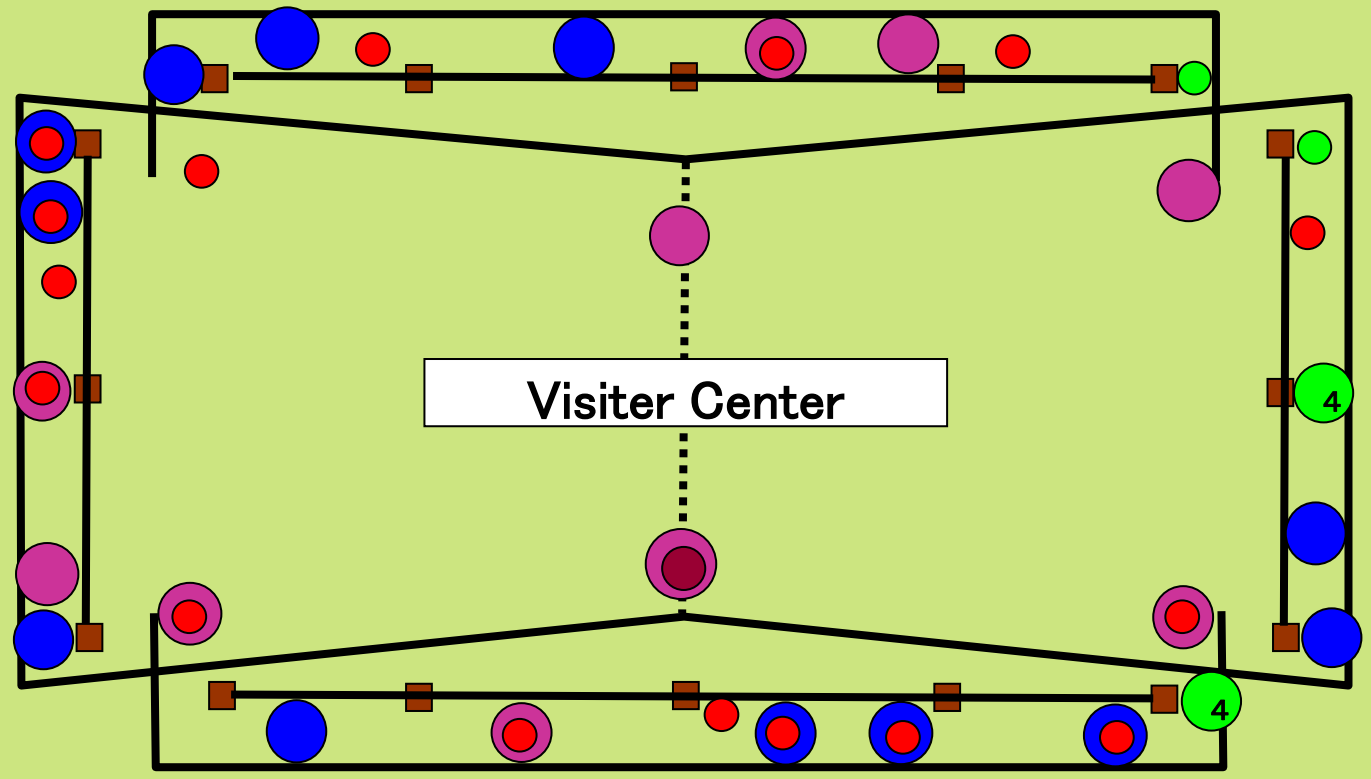
巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+



北

ツバメ 2017. 6. 24.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち



Visitor Center

南

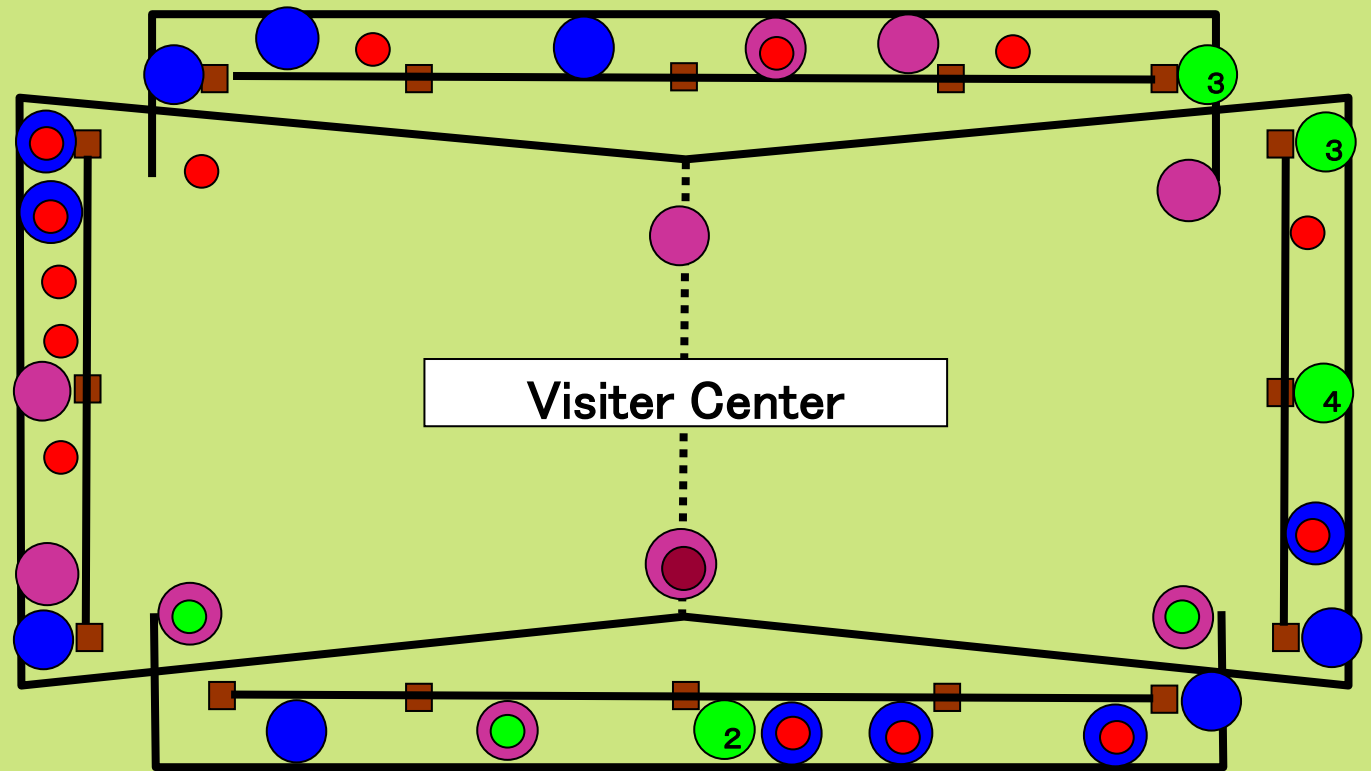
巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4

北

ツバメ 2017. 6. 29.

- 造巢中
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち

巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4+4+

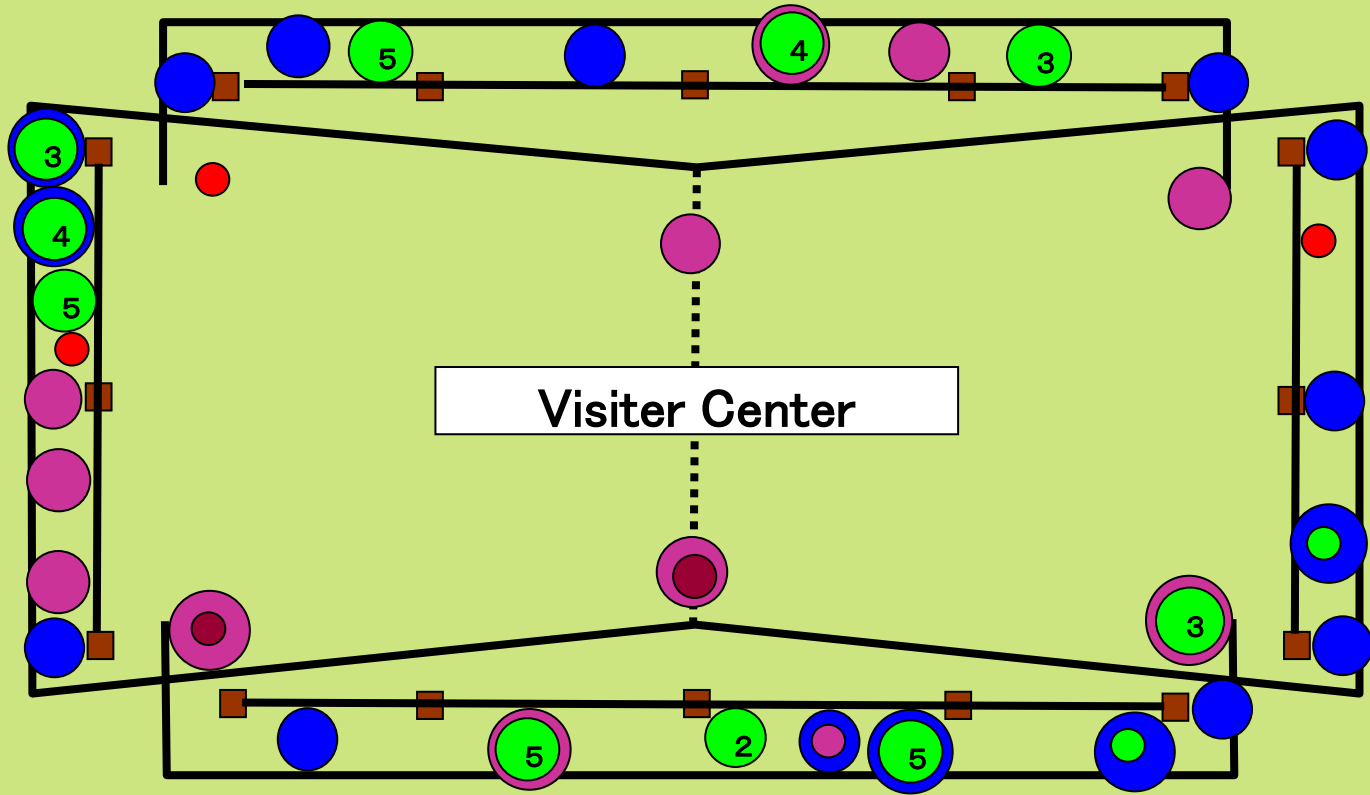


南

北

ツバメ 2017. 7. 12.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗



巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4+4+3
+3+4+
=67

南

北

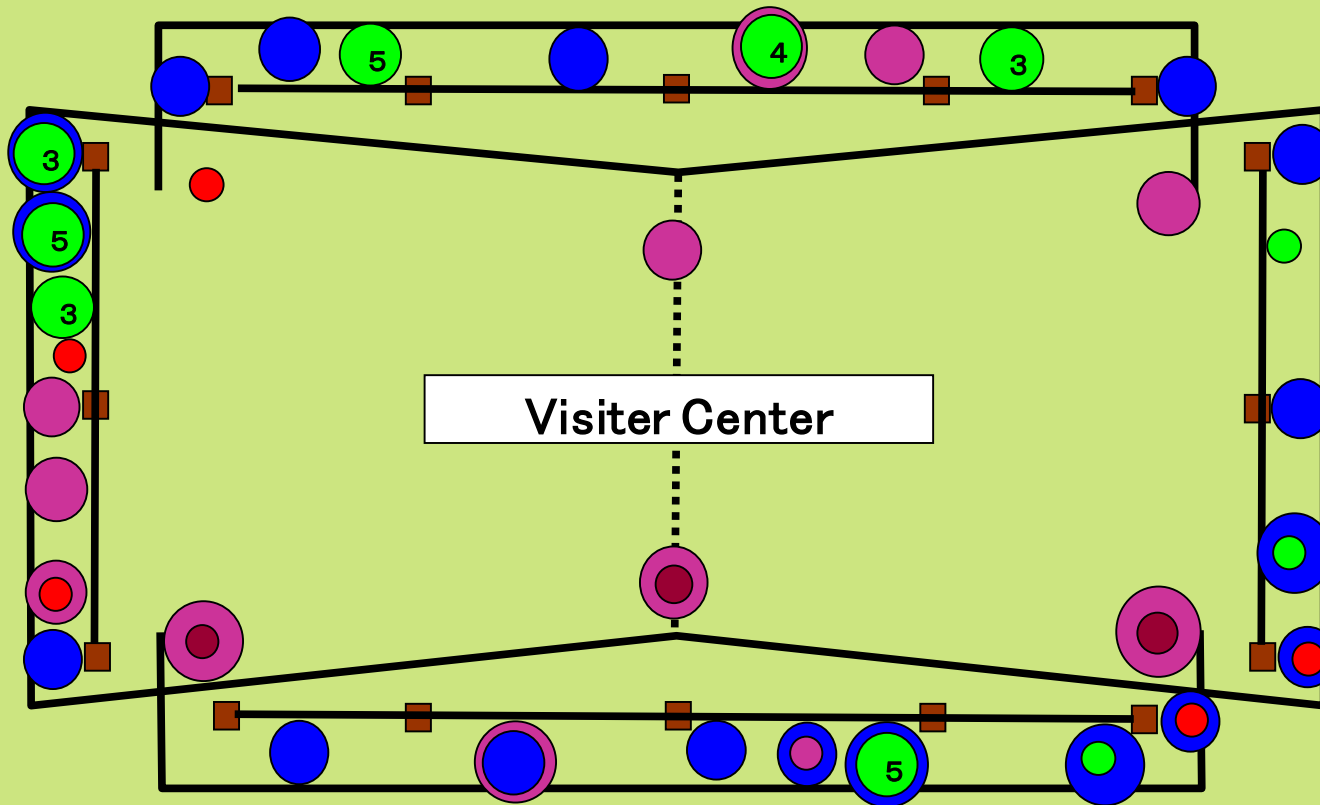
ツバメ 2017. 7. 15.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗

Visitor Center

巣立ち数
4 + 3 + 4 + 1
+ 5 + 2 + 5 + 3
+ 5 + 6 + 4 + 4
+ 3 + 4 + 4 + 3
+ 3 + 4 + 2 + 5
+

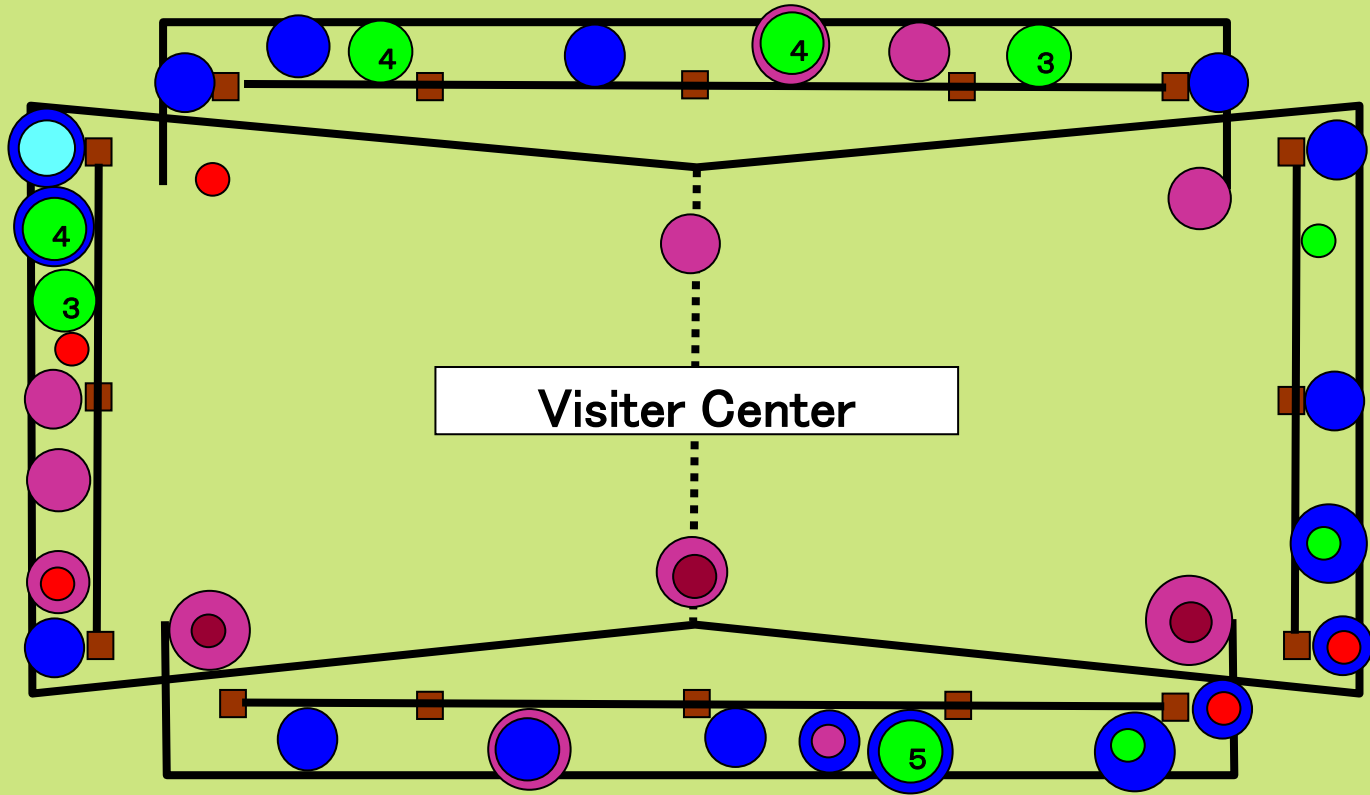
南



北

ツバメ 2017. 7. 18.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗



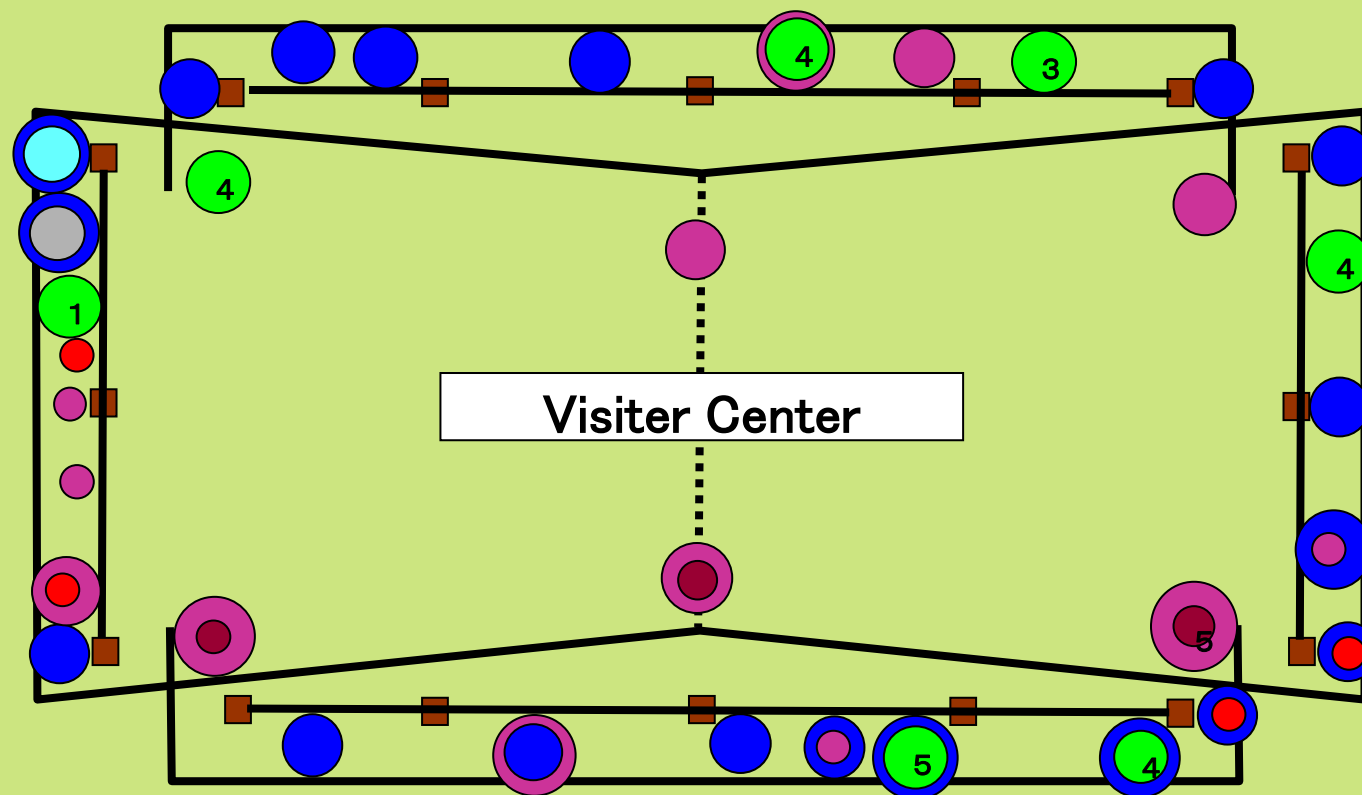
Visitor Center

南

巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4+4+3
+3+4+2+5
+3

北

ツバメ 2017. 7. 22.



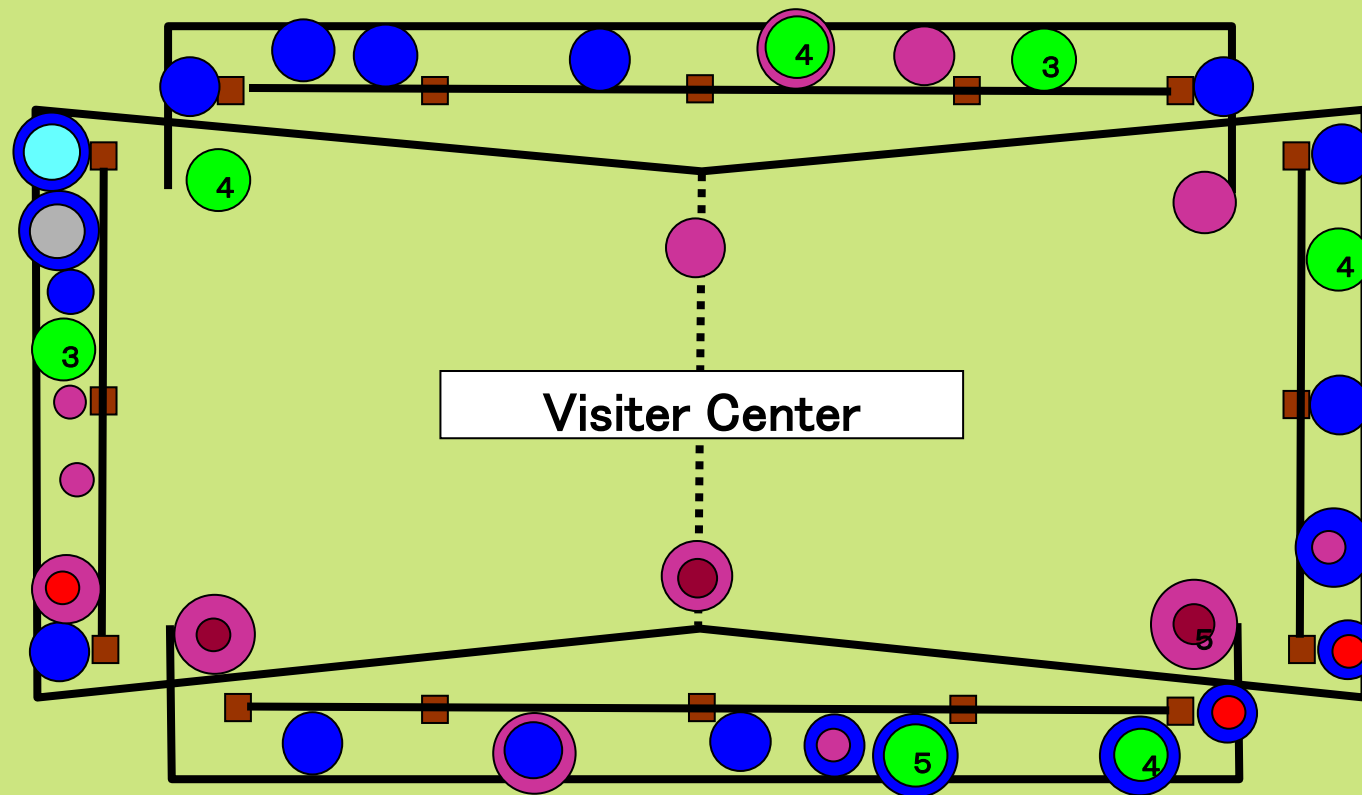
- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗
- 失敗

巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4+4+3
+3+4+2+5
+3+2+2+4
=85

南

北

ツバメ 2017. 7. 24.



- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 失敗
- 失敗

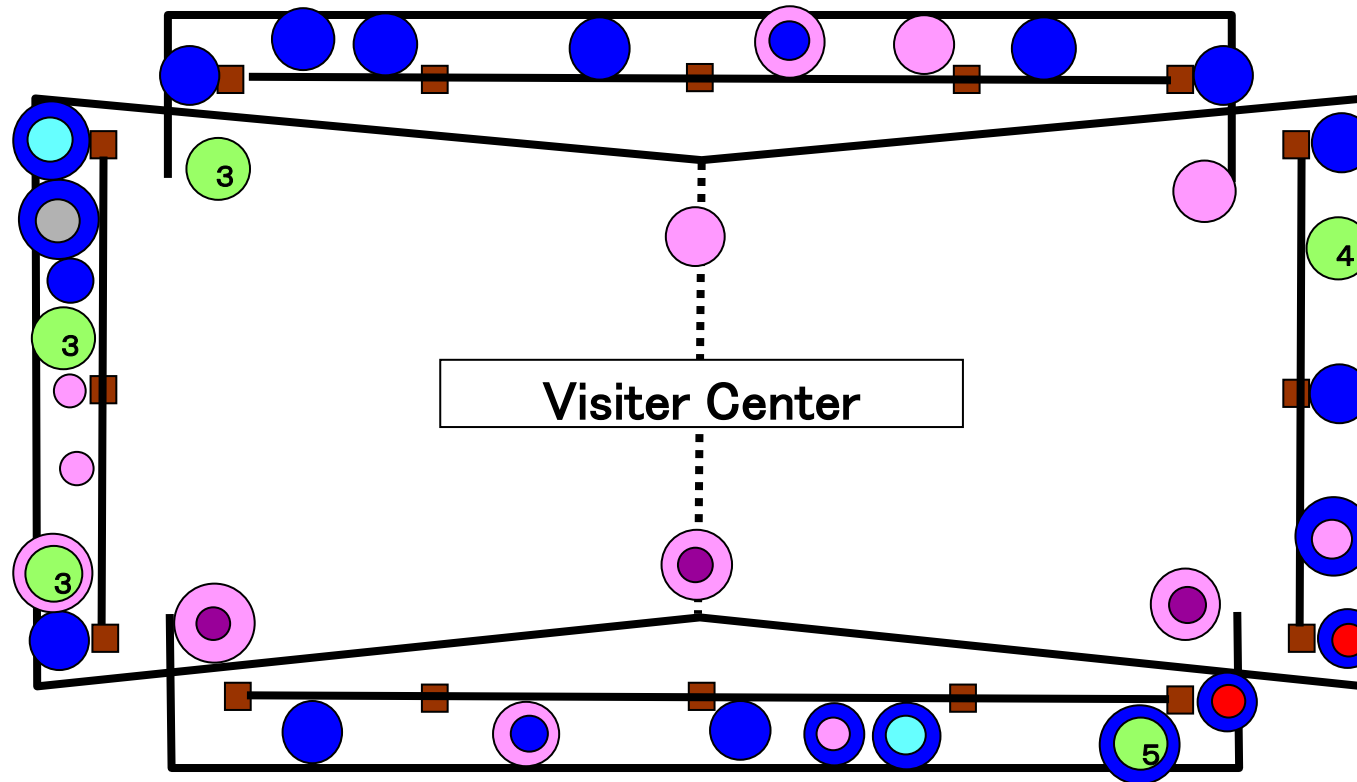
巣立ち数
4+3+4+1
+5+2+5+3
+5+6+4+4
+3+4+4+3
+3+4+2+5
+3+2+2+4
+1
=86

南

北

ツバメ 2017. 7. 26.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗



巣立ち数

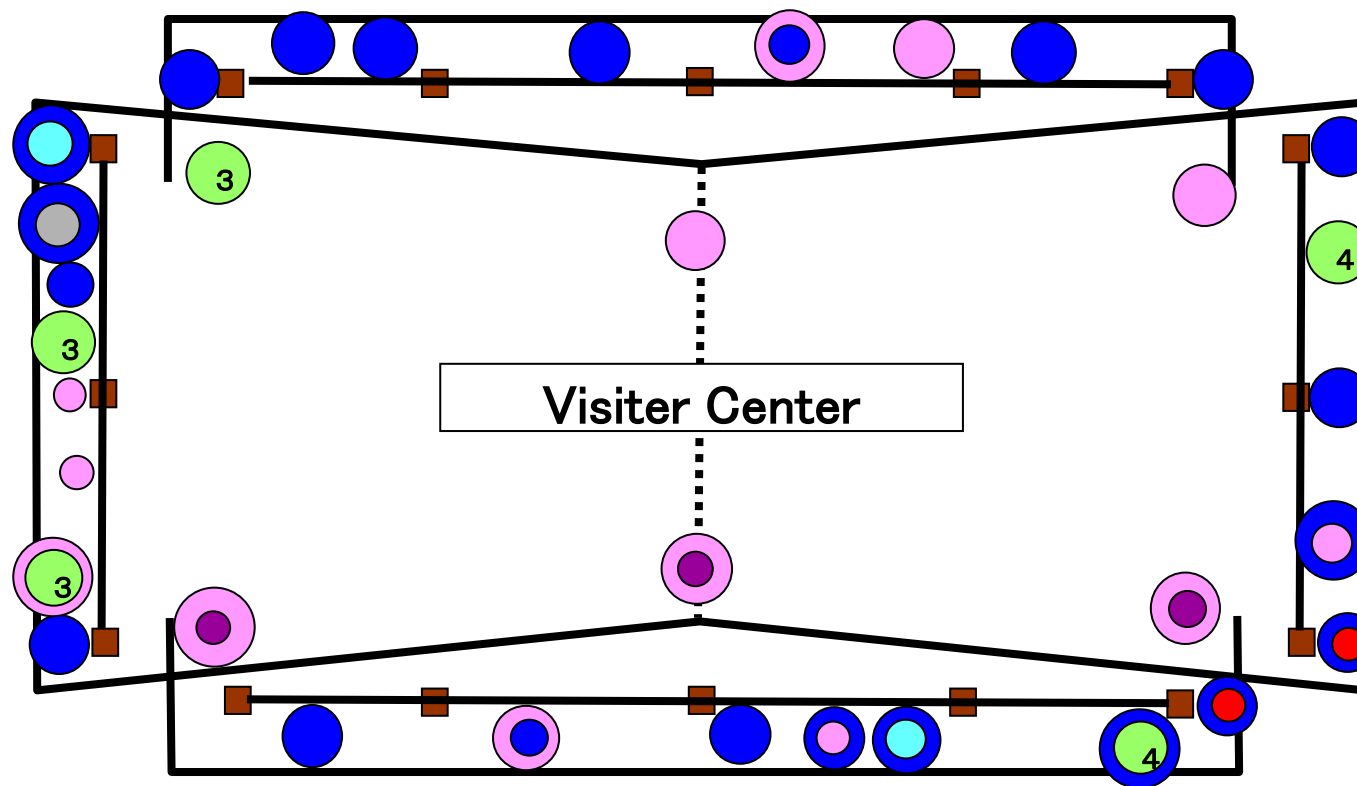
$$\begin{aligned} &4+3+4+1+5 \\ &+2+5+3+5+ \\ &6+4+4+3+4 \\ &+4+3+3+4+ \\ &2+5+3+2+2 \\ &+4+1+4+3+ \\ &5 \\ &=98 \end{aligned}$$

南

北

ツバメ 2017. 7. 30.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗



Visitor Center

南

巣立ち数

$$\begin{aligned} &4+3+4+1+5 \\ &+2+5+3+5+ \\ &6+4+4+3+4 \\ &+4+3+3+4+ \\ &2+5+3+2+2 \\ &+4+1+4+3+ \\ &5+1 \\ &=99 \end{aligned}$$

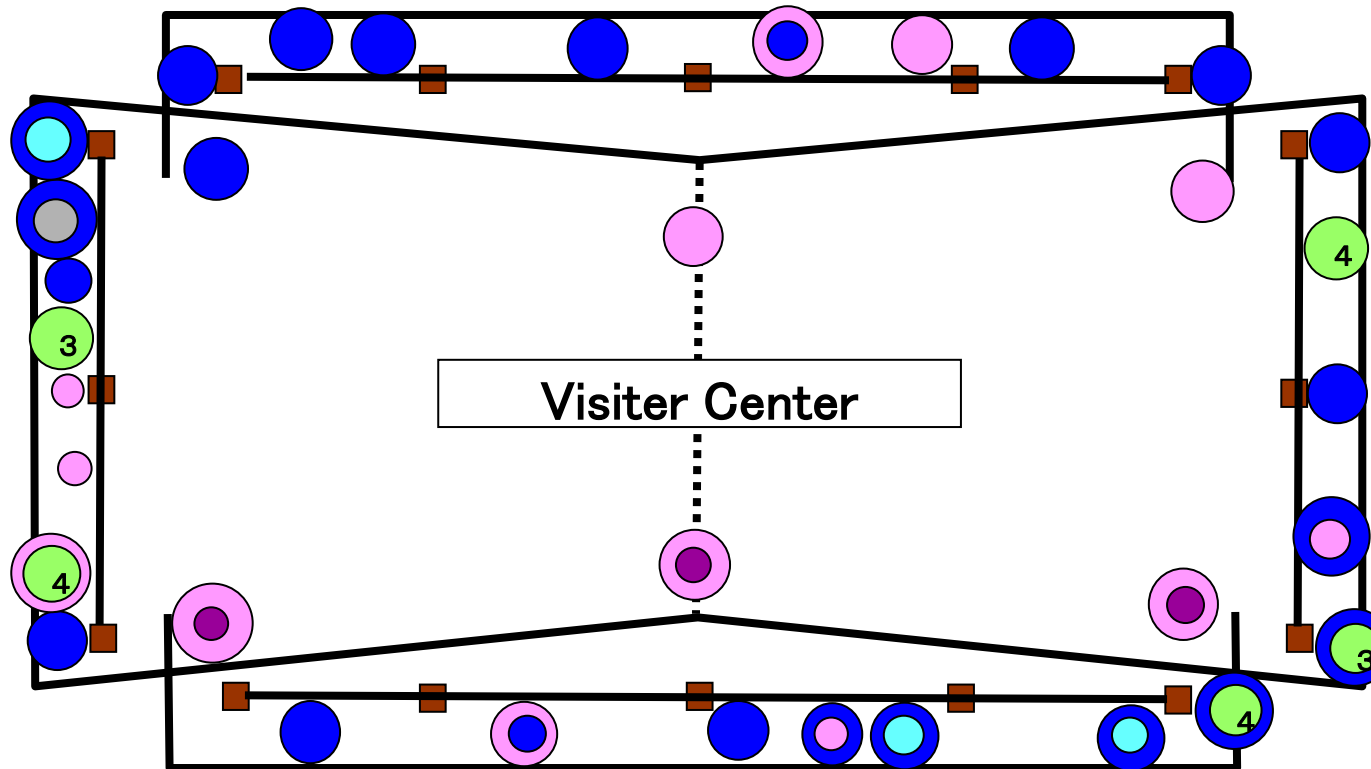
北

ツバメ 2017. 8. 5.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗

巣立ち数

4+3+4+1+5
+2+5+3+5+
6+4+4+3+4
+4+3+3+4+
2+5+3+2+2
+4+1+4+3+
5+1+3
+4

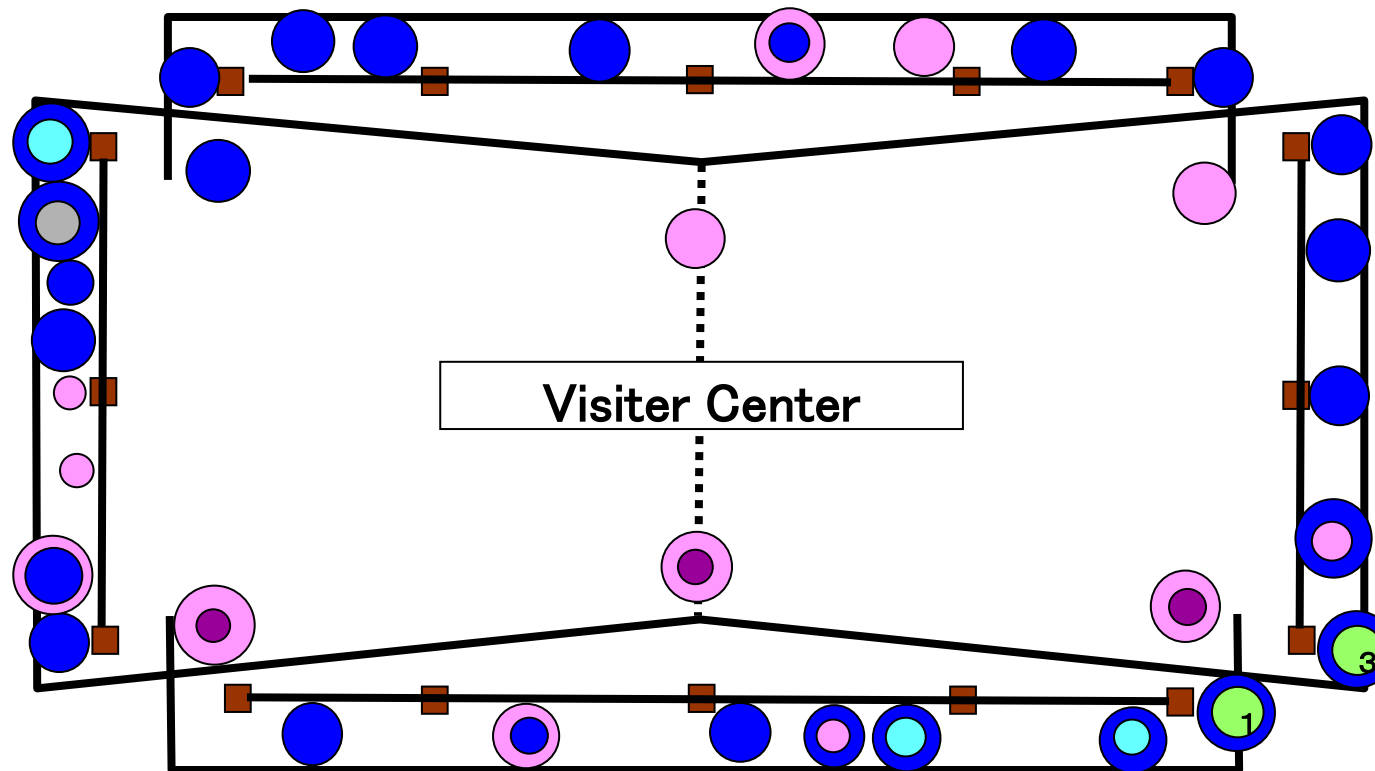


南

北

ツバメ 2017. 8. 10.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗



巣立ち数

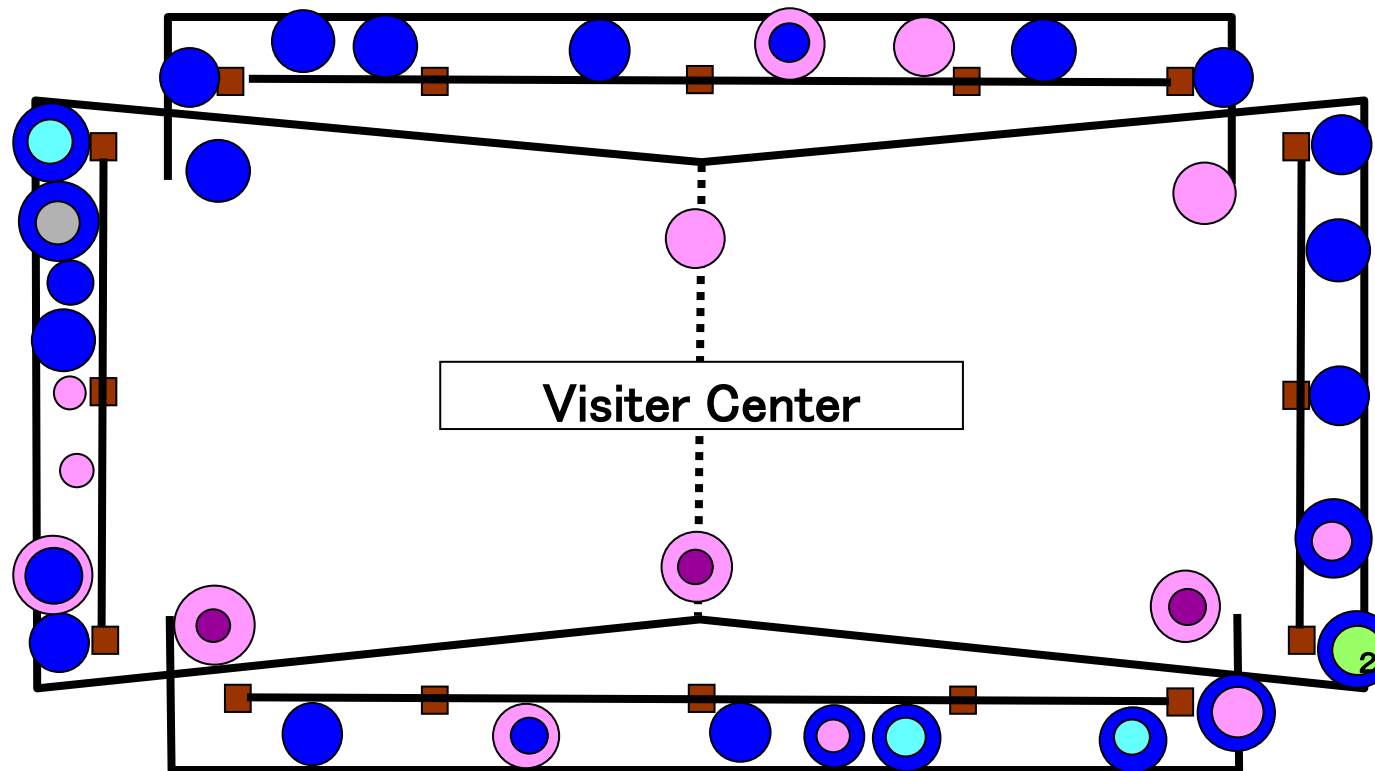
4+3+4+1+5
+2+5+3+5+
6+4+4+3+4
+4+3+3+4+
2+5+3+2+2
+4+1+4+3+
5+1+3
+4+3+4+4+

南

北

ツバメ 2017. 8. 13.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗



巣立ち数

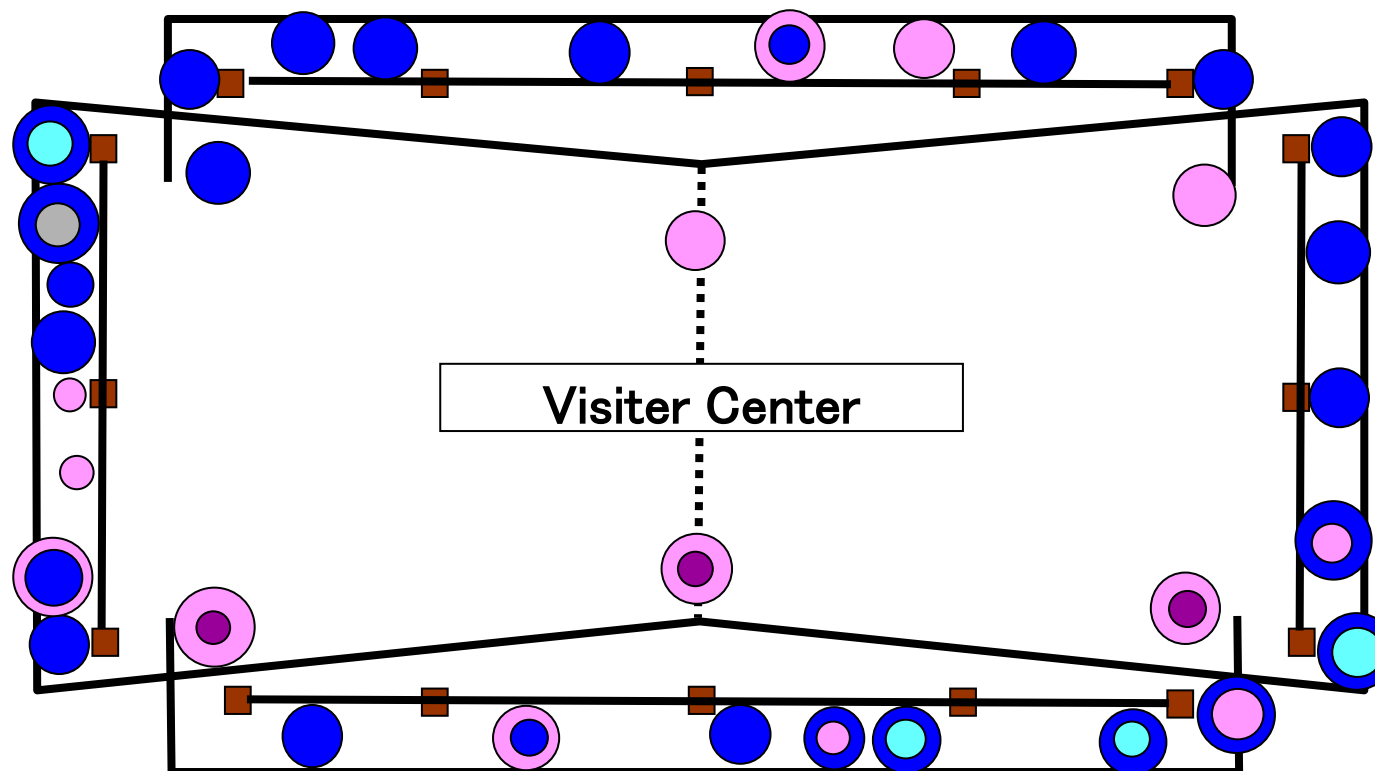
4+3+4+1+5
+2+5+3+5+
6+4+4+3+4
+4+3+3+4+
2+5+3+2+2
+4+1+4+3+
5+1+3
+4+3+4+4+

南

北

ツバメ 2017. 8. 17.

- 抱卵
- 育雛中
- 巣立ち
- 巣立ち2
- 失敗
- 失敗2
- 半失敗



Visitor Center

南

巣立ち数

4+3+4+1+5
+2+5+3+5+
6+4+4+3+4
+4+3+3+4+
2+5+3+2+2
+4+1+4+3+
5+1+3
+4+3+4+4+
1+2

図 4.1 ニホンアカガエル及び、アズマヒキガエルの産卵調査結果

平成30年1月7日より4月1日まで、ニホンアカガエルの卵塊及び、アズマヒキガエルの卵の調査を実施した。

ニホンアカガエルの卵塊は、今年も確認できなかった。

アズマヒキガエルの卵は、昨年と同じ1-③池と、内周路南側 1-②池の最南端樹の1つに産卵していた。

来年度以降、他の池での産卵を期待と持ち去り予防に、4月1日、2-③池と、3-③池に一部移動した。

産卵場所と移動場所は、右の
図面を参照下さい。

- 産卵場所
- 移動場所

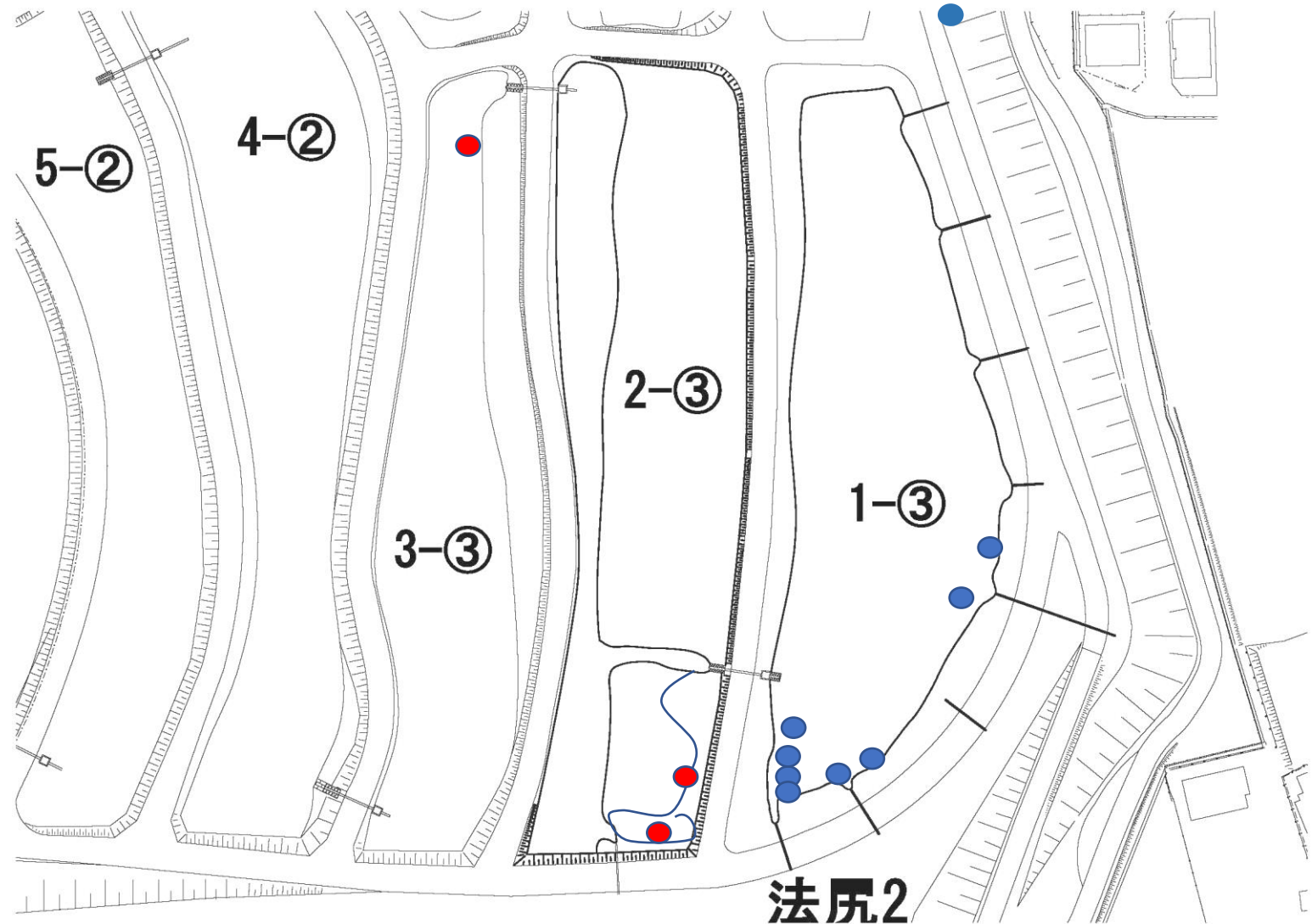


図4.3 2－③池 草刈り経過



7月29日 水抜き後 草刈り後 耕起前



8月4日 耕起後



8月19日 経過



11月26日 耕起後



7月29日

8月4日

11月26日

毎年2月にアカガエルの産卵場所として機能していたが昨年から激減し
今季は卵塊数ゼロとなったので要因の一つと思われる晩秋の耕起工を
2017年度から省き9月頭か11月頭に草刈りのみ行う形とする。



2014年8月30日 排水周りのヨシ群落



予定外の耕起でヨシ消失

図 6.1 魚類トラップ設置箇所

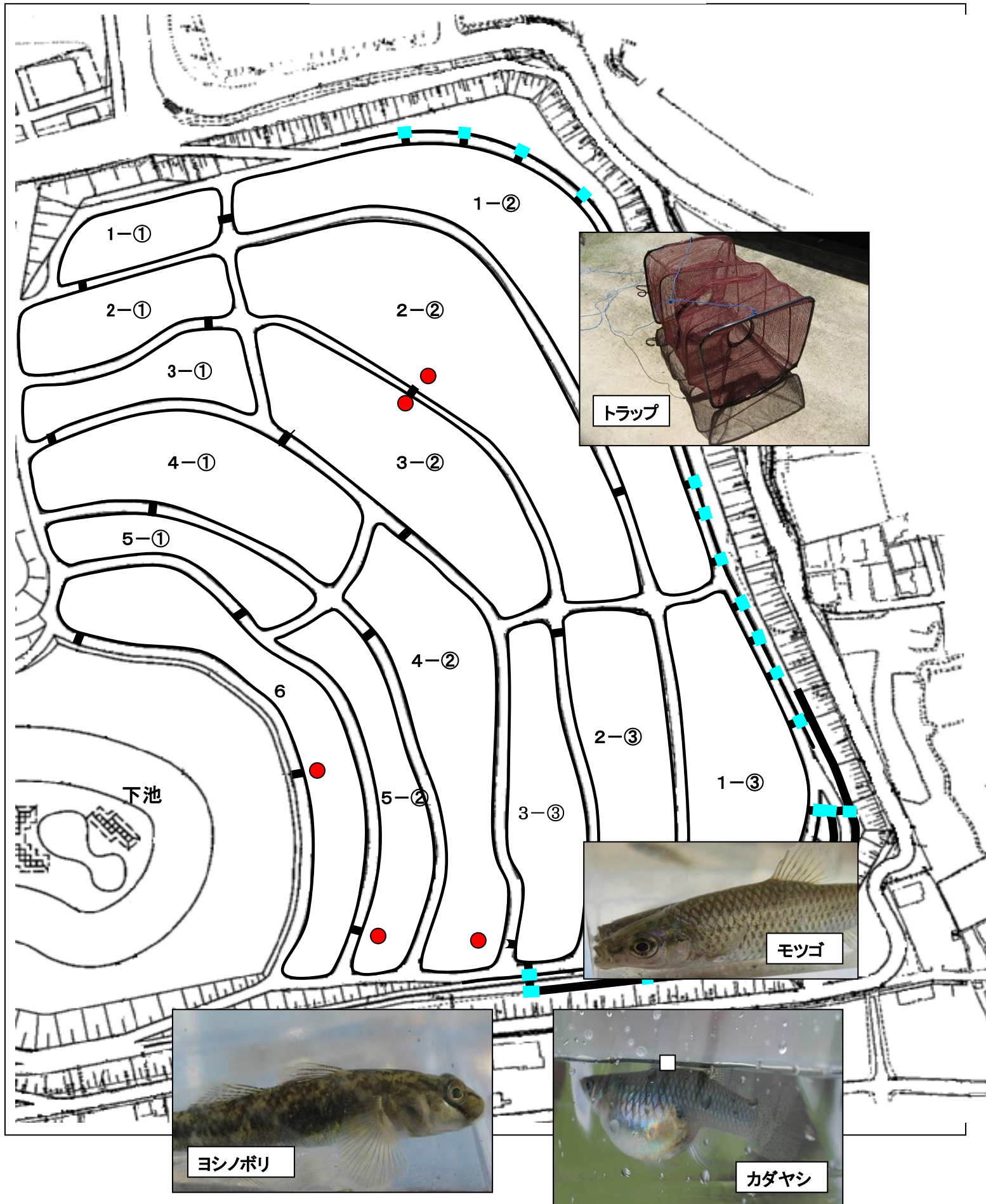
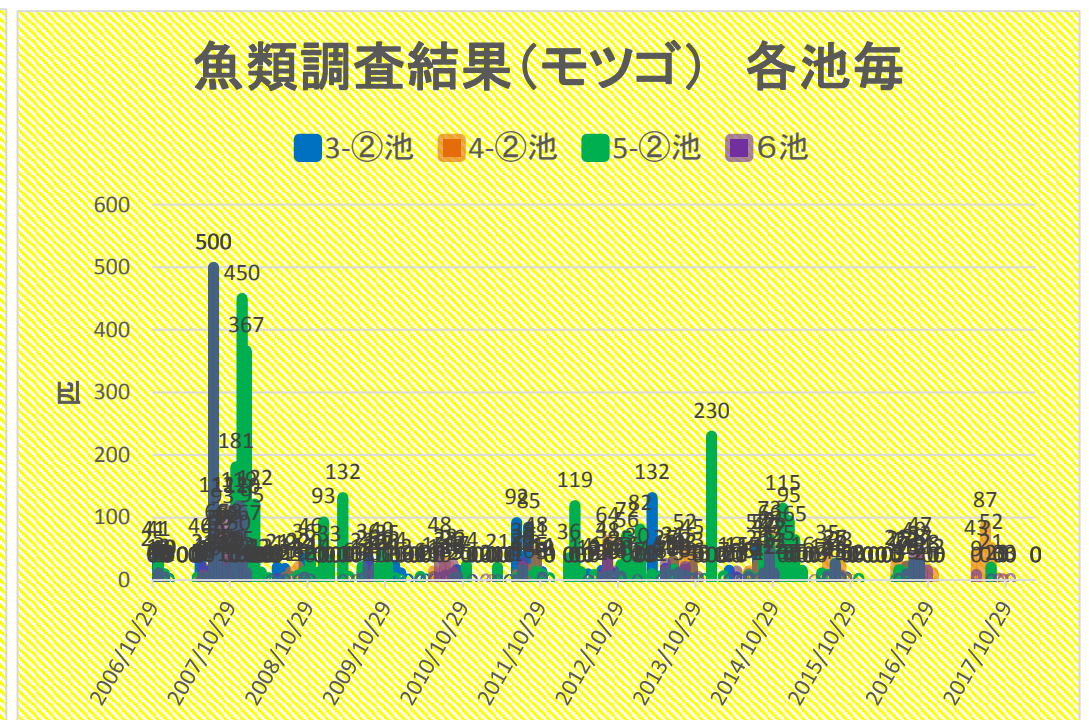
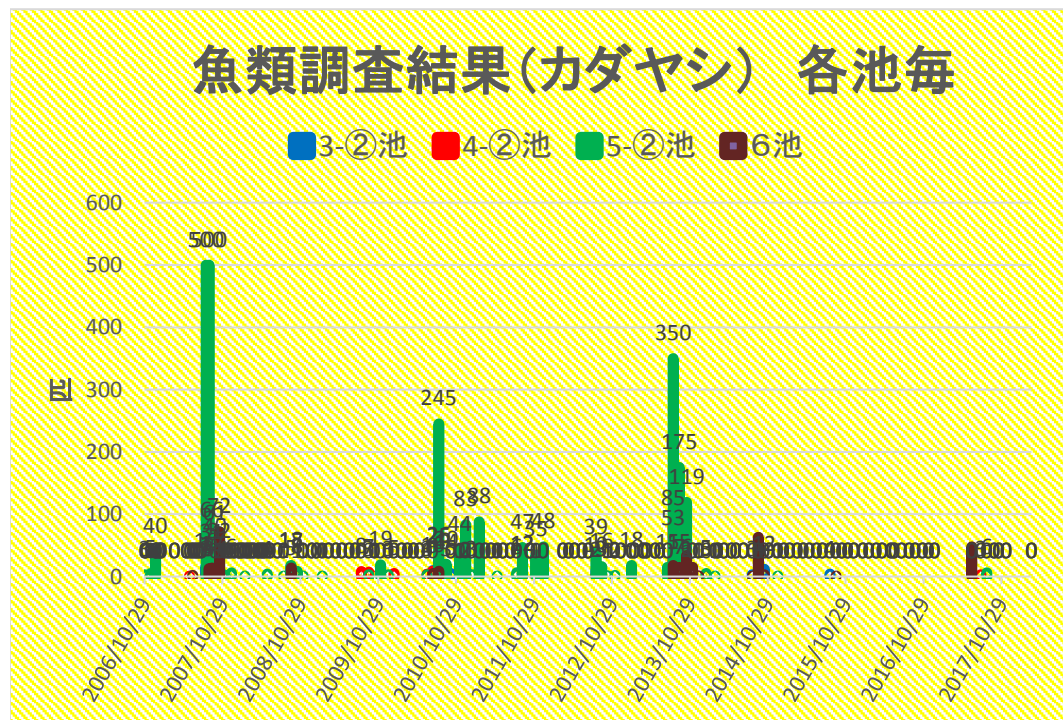
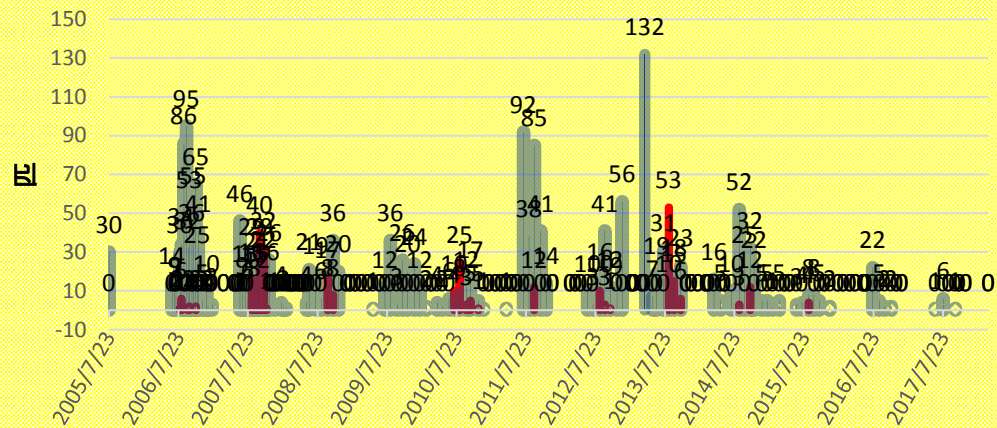


図6.2 魚類調査結果



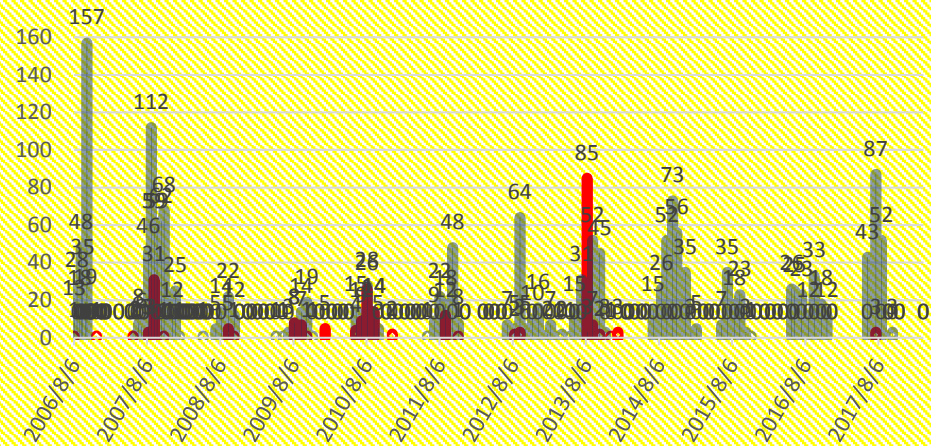
魚類調査結果 3-②池

■カダヤシ ■モツゴ



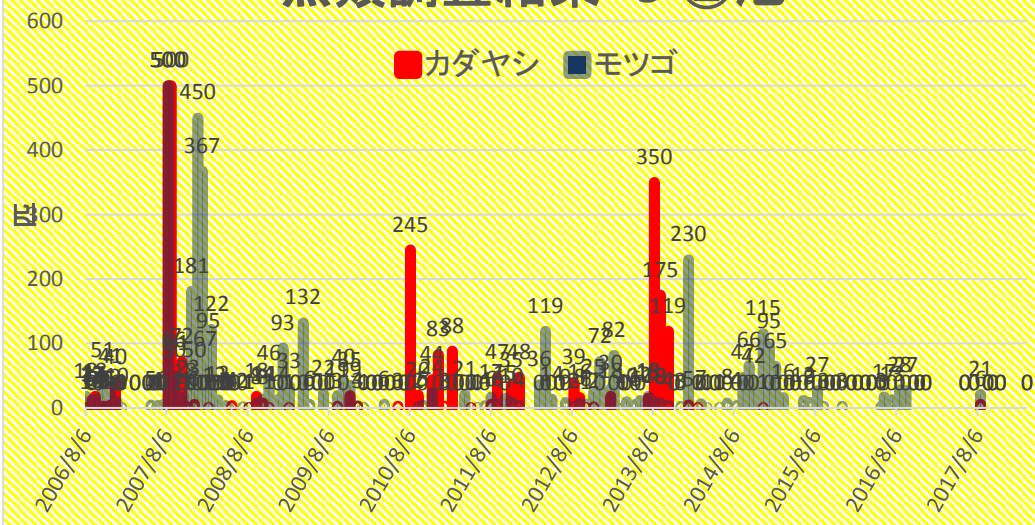
魚類調査結果 4-②池

■カダヤシ ■モツゴ



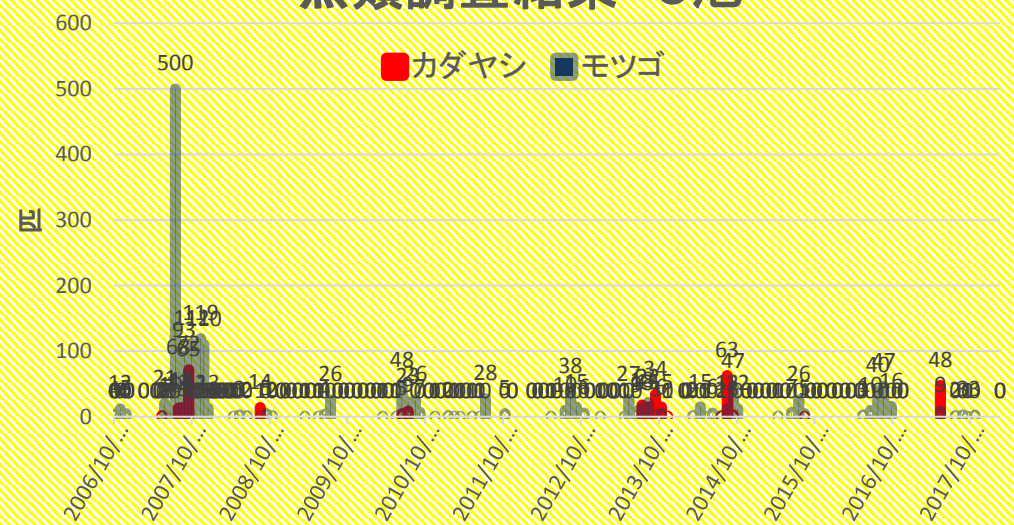
魚類調査結果 5-②池

■カダヤシ ■モツゴ



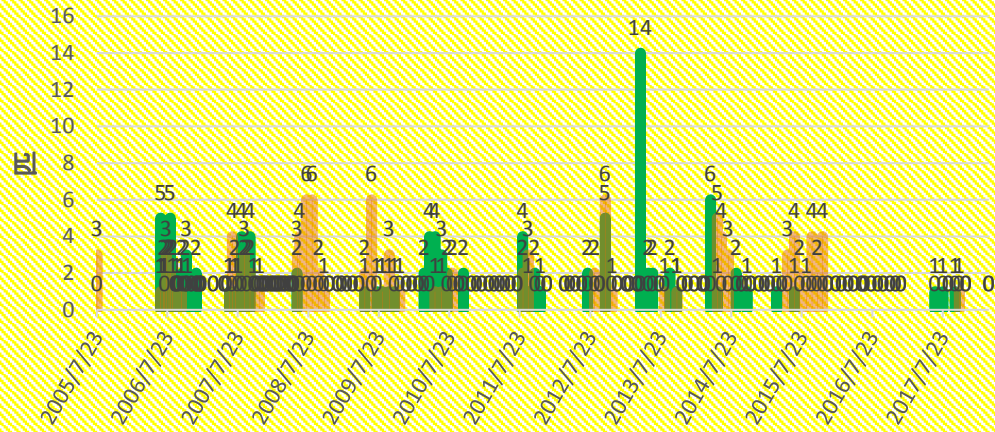
魚類調査結果 6池

■カダヤシ ■モツゴ



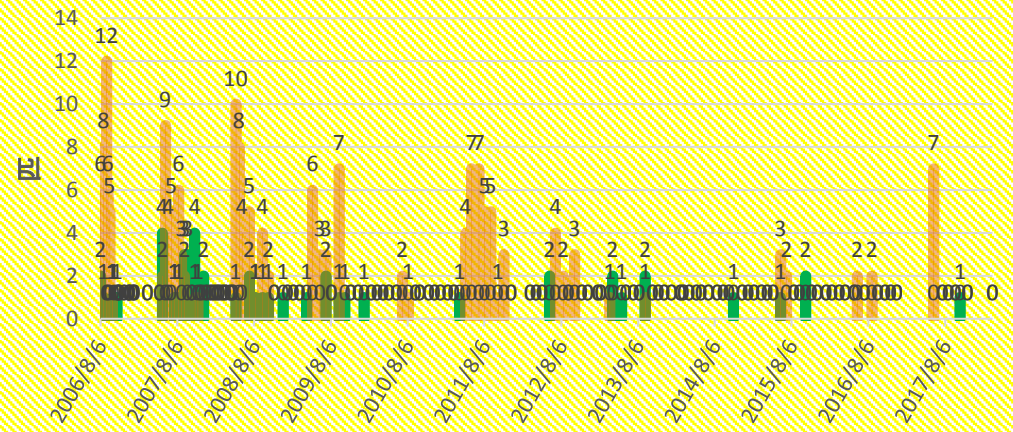
魚類調査結果 3-②池

ヨシノボリ ザリガニ



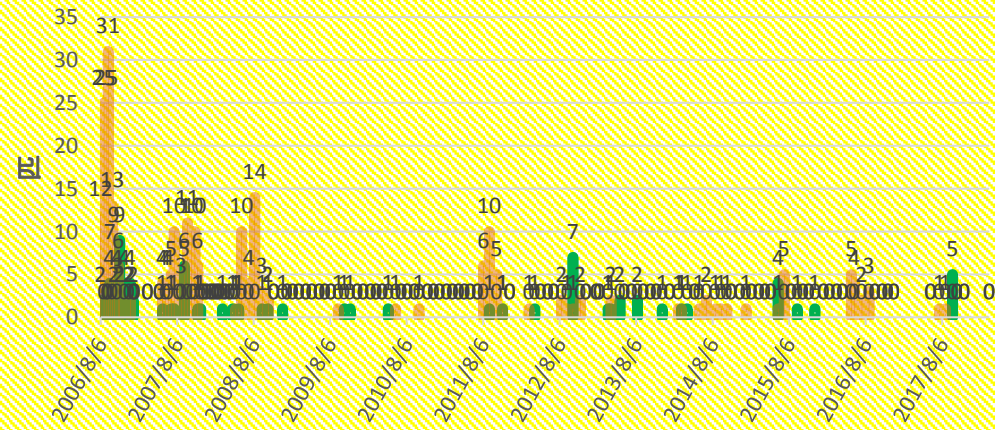
魚類調査結果 4-②池

ヨシノボリ ザリガニ



魚類調査結果 5-②池

ヨシノボリ ザリガニ



魚類調査結果 6池

ヨシノボリ ザリガニ

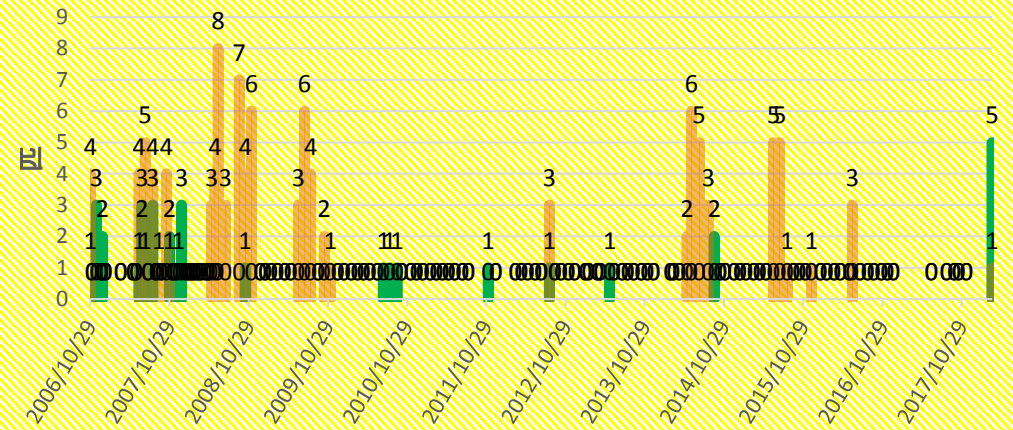
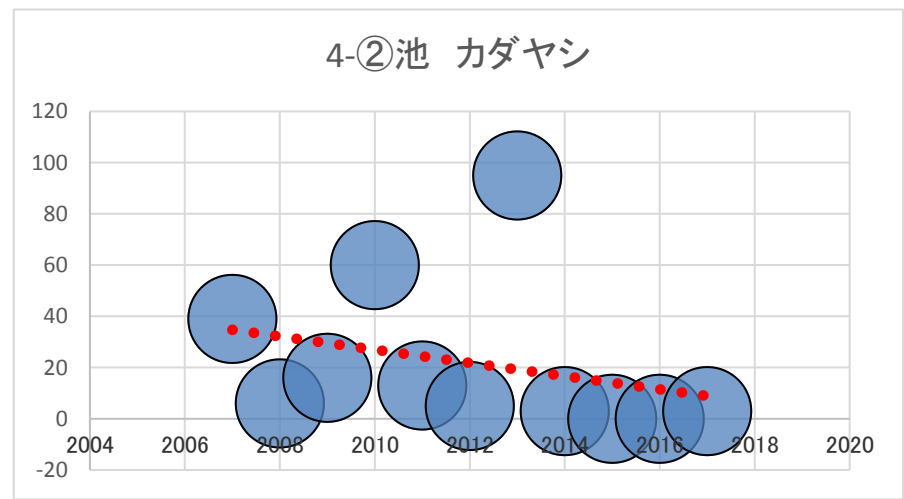
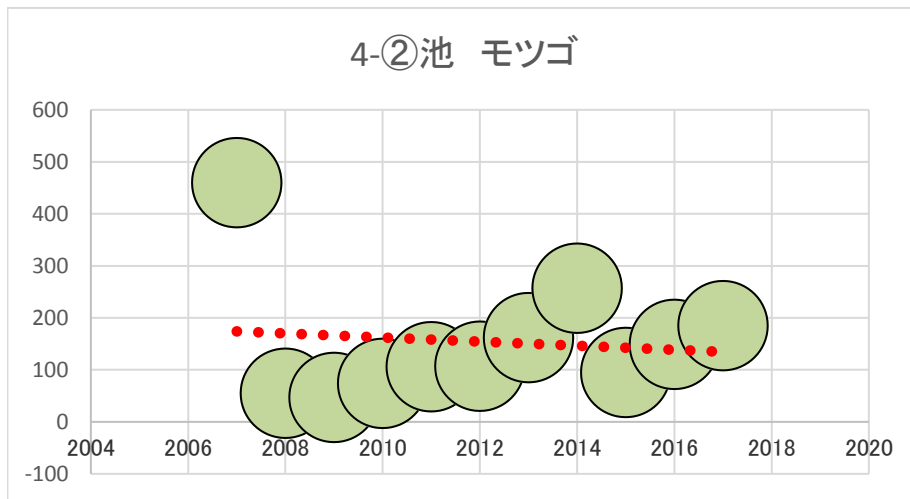
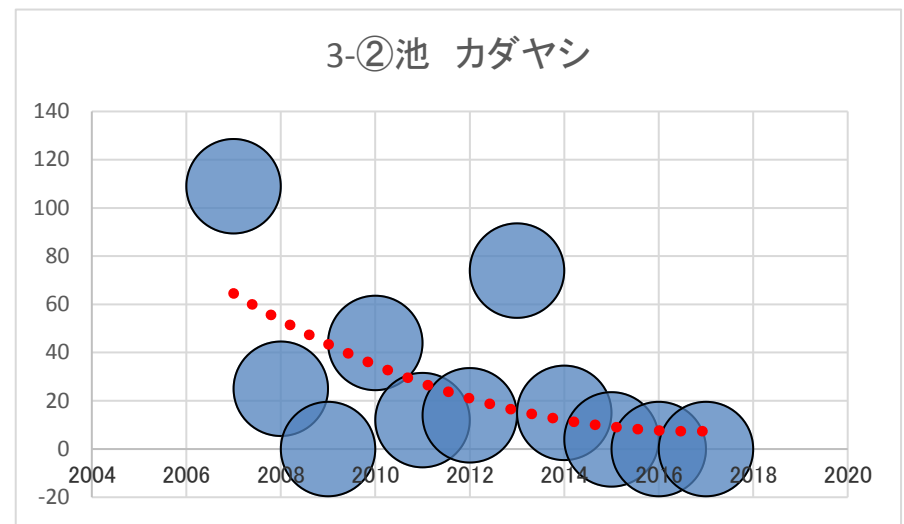
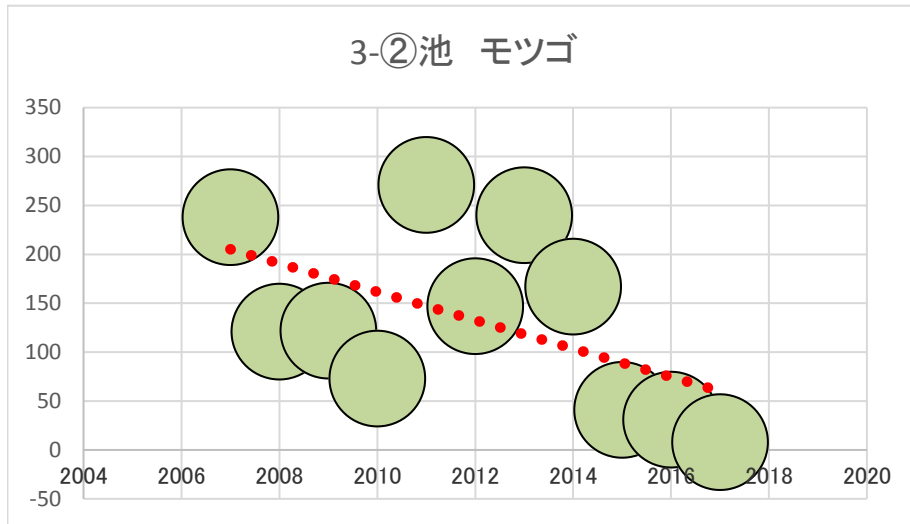
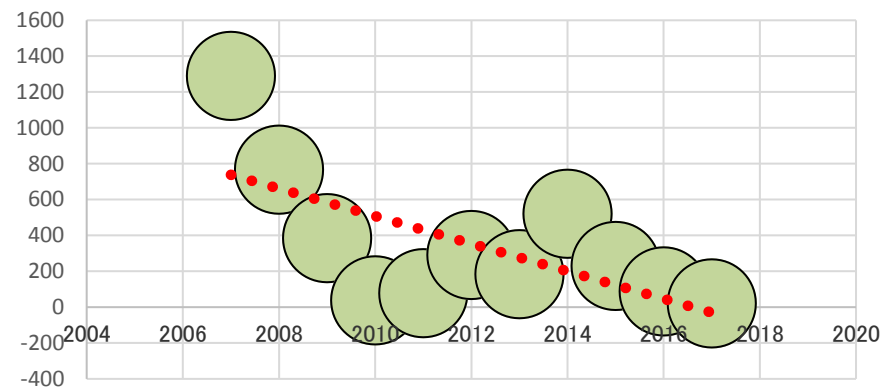


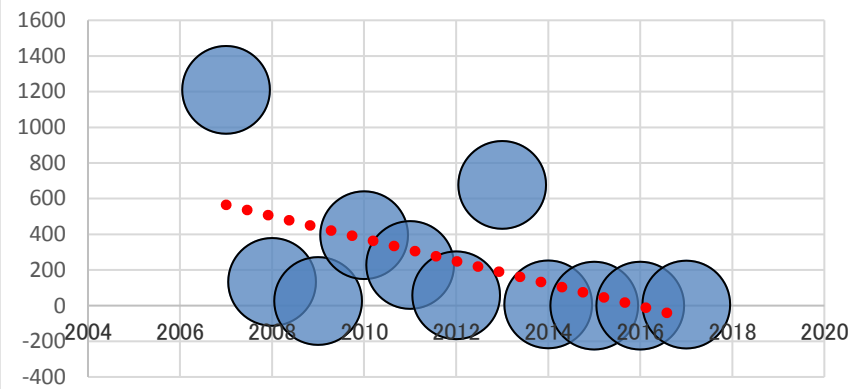
図 6.3 魚類調査 散布図



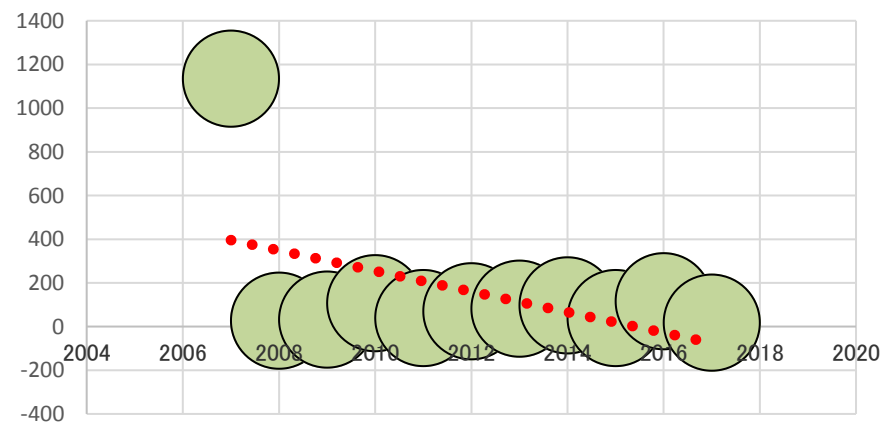
5-②池 モツゴ



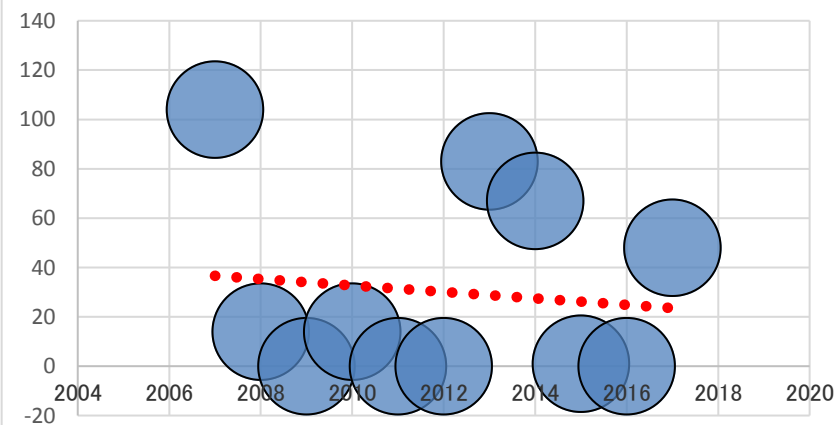
5-②池 カダヤシ



6池 モツゴ



6池 カダヤシ



アカミミガメ クサガメ スッポン ライギョ

図 6.4 カメトラップ捕獲経緯

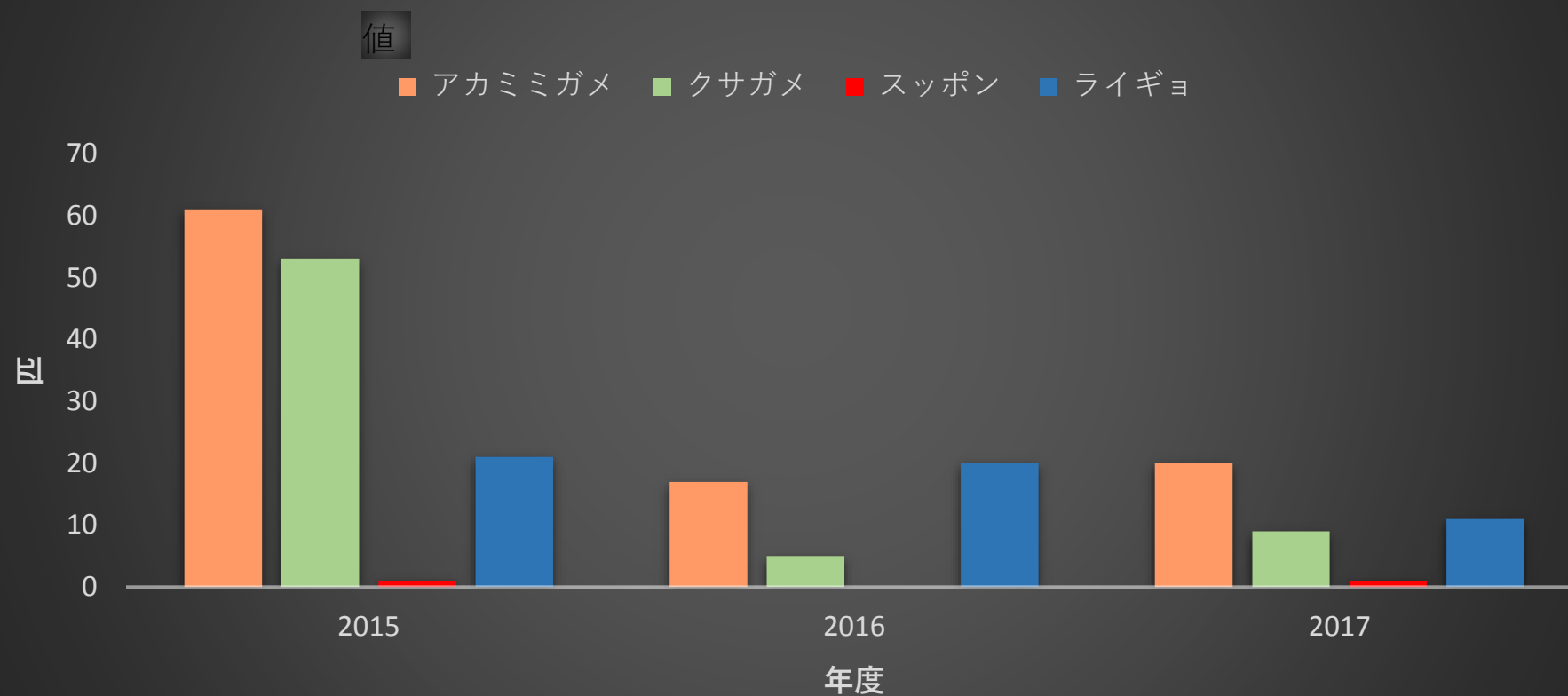


图 7.1 定点摄影箇所

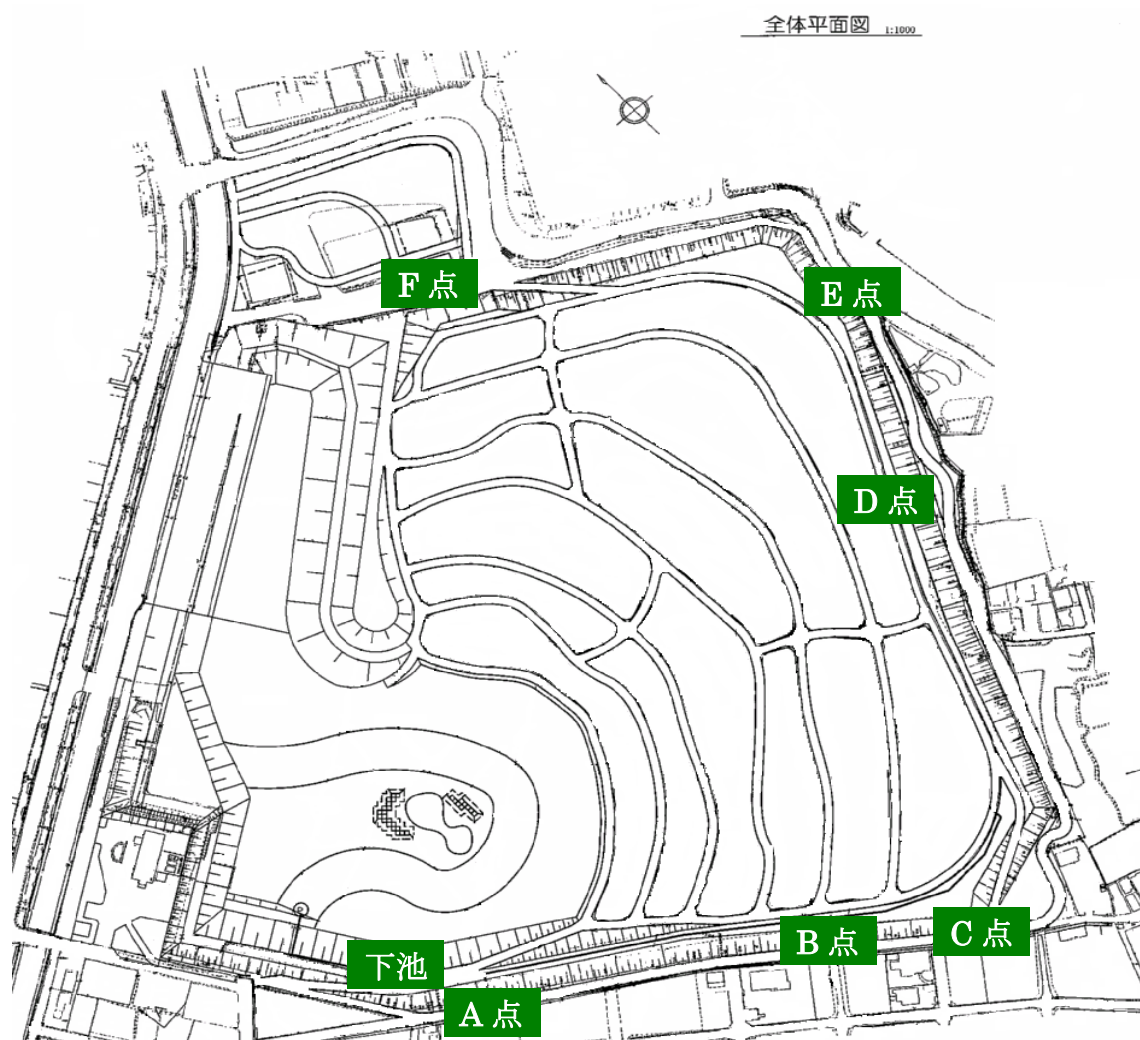


図7.2 大柏川第一調節池緑地の四季の遷り変り

2017/4/16



2017/5/21



2017/6/19



2017/7/23



2017/8/27



2017/9/25



2017/10/15



2017/11/19



2017/12/17



2018/1/21



2018/2/18



2018/3/18



図7.3 大柏川第一調節池緑地の年度別の遷り変り

平成30年総会用資料
ぼっけ生きもの倶楽部
複製を禁止します

2007/8/19



2008/4/20



2009/4/19



2010/4/18



2011/4/28



2012/4/15



2013/4/22



2014/4/20



2015/4/19



2016/4/17



2017/4/16



図 8.1 湧水量及び地下水位測定箇所

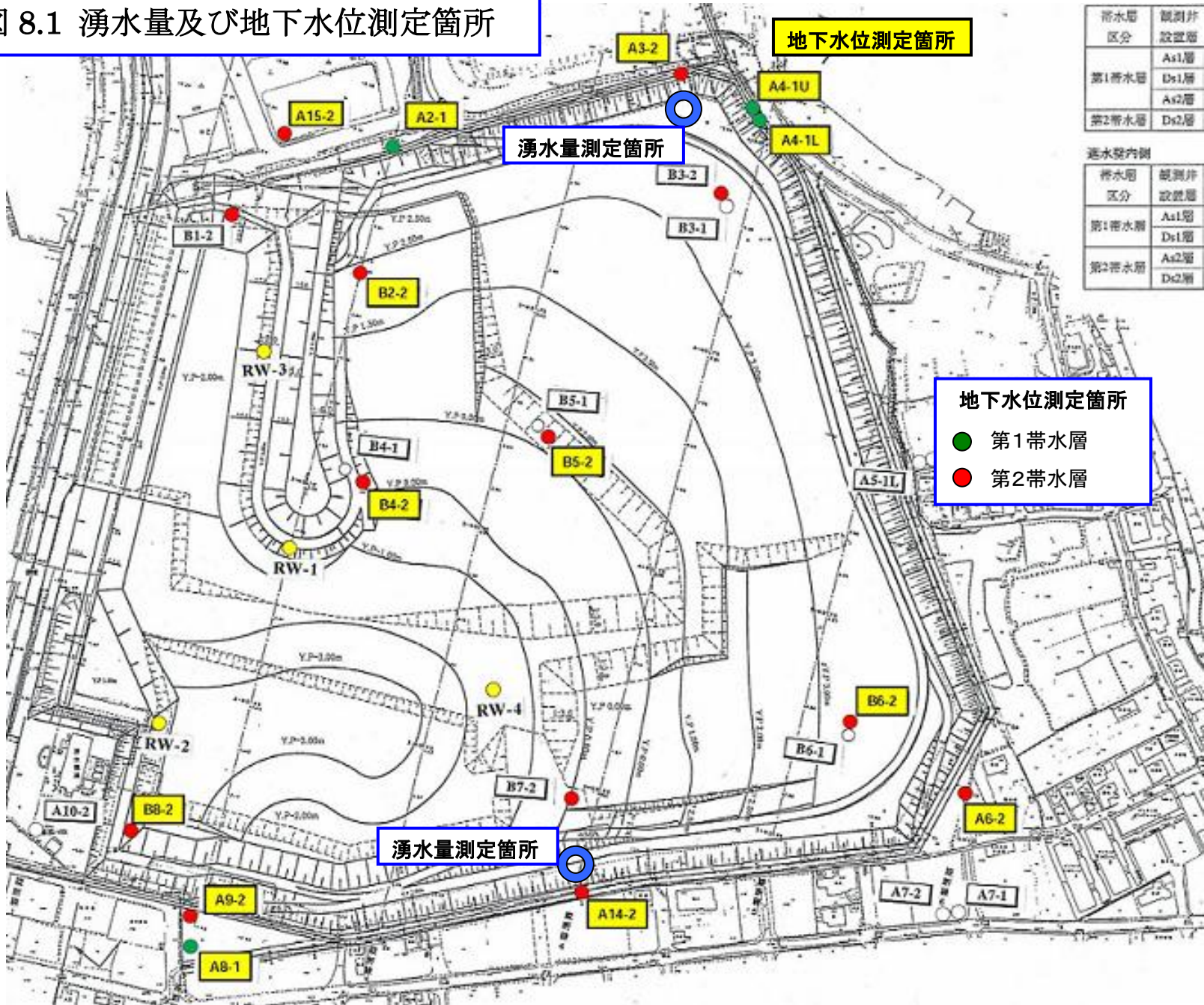


図8.2 地下水位測定井戸自噴量

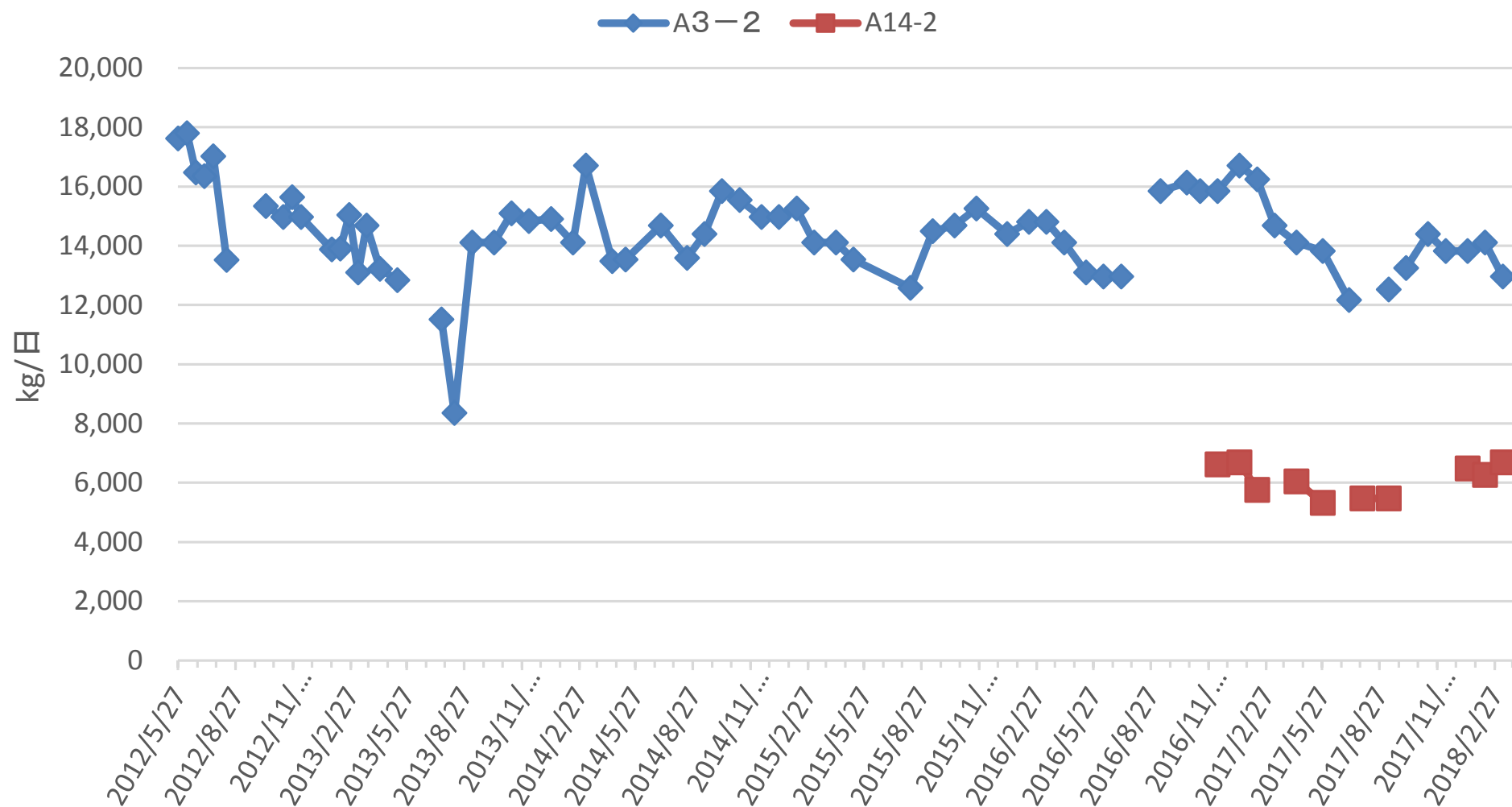
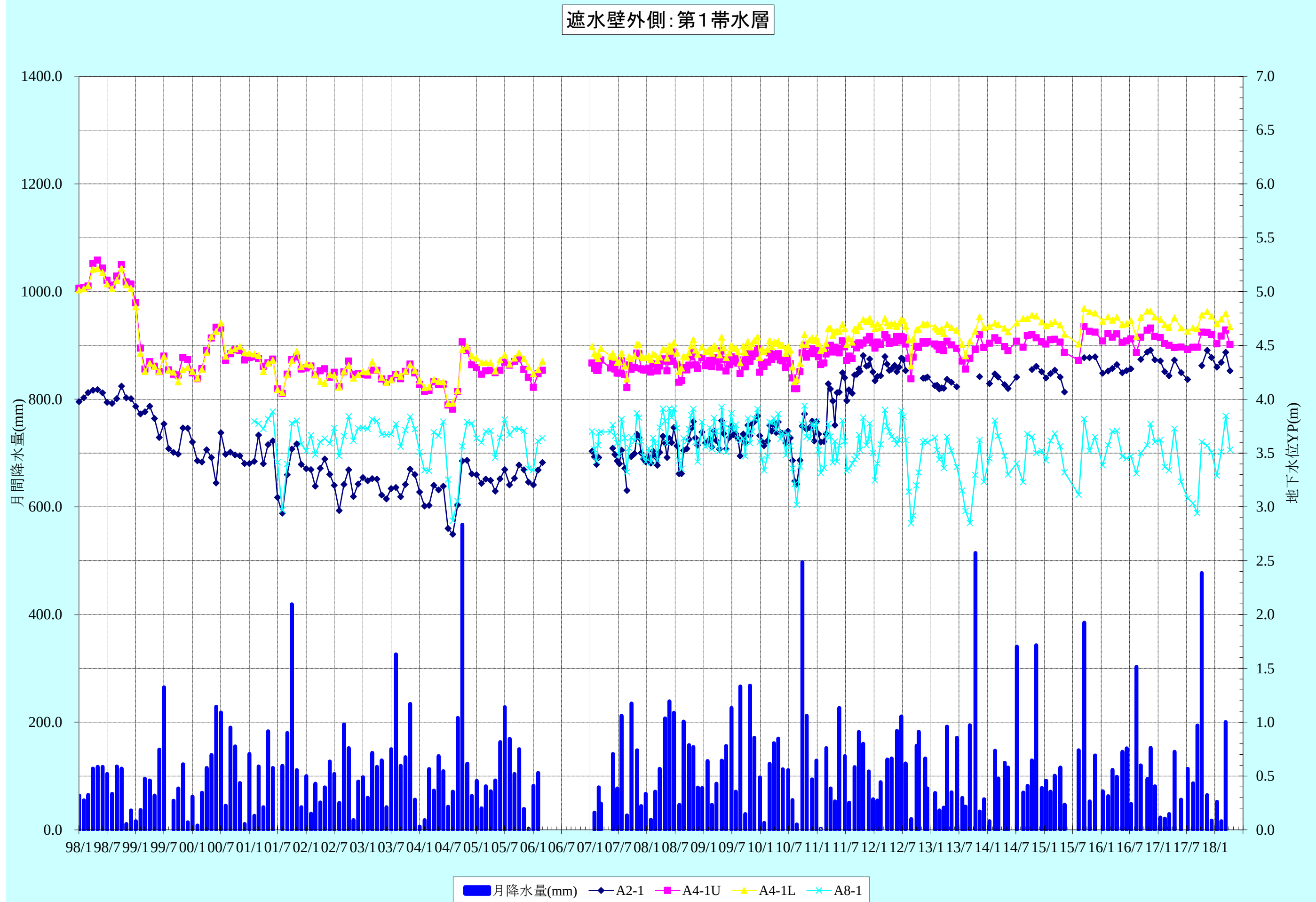


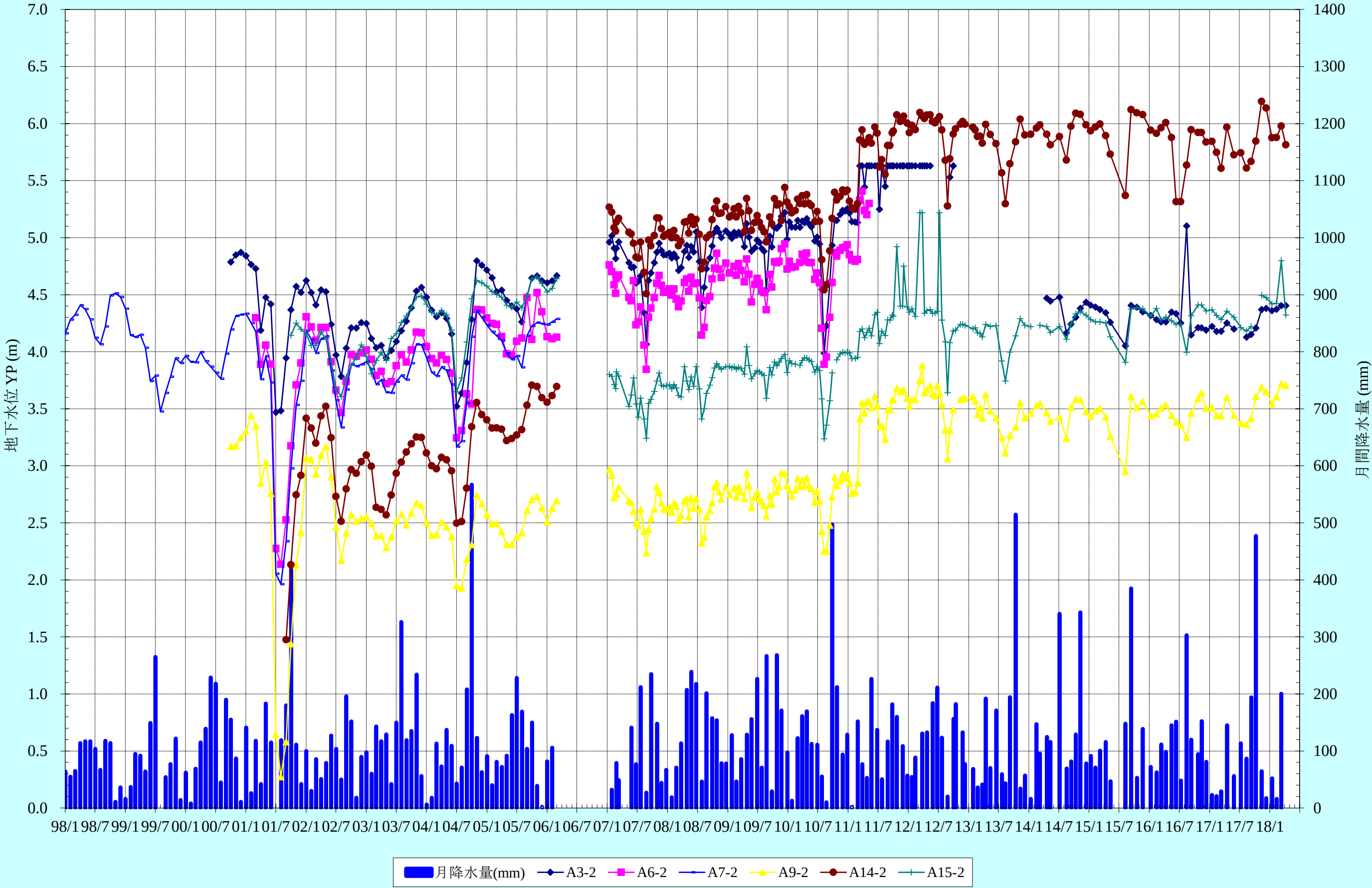
図8.3 地下水位測定結果

大柏第1調節池 地下水位観測データ



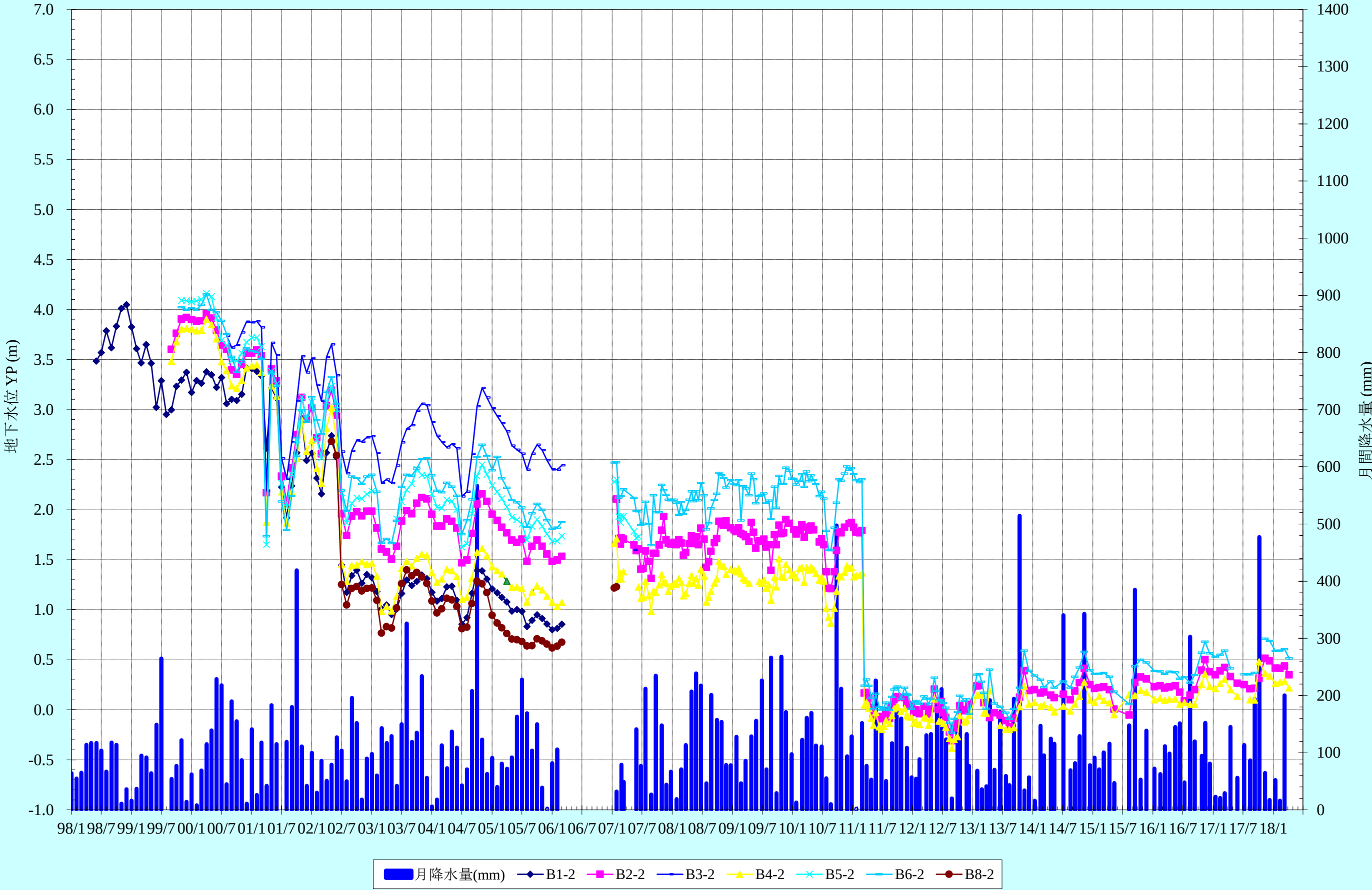
地下水位の経時変化図

遮水壁外側: 第2帯水層



地下水位の経時変化図

遮水壁内側: 第2帯水層



地下水位の経時変化図

表1-2 群落組成表
植物群落組成調査票 H29

調査者名 高沢・高橋

調査地点	1	調査区の概要:	VC前面の法面、定期的に刈り取られる南向きの日当たりのよい斜面、遊水池内では比較的乾燥した条件。人による踏圧もあり。			
調査面積	25m2					
出現種		2016.5.1	2016.10.16	2017.5.14	2017.10.8	
		群度・被度	群度・被度	群度・被度	群度・被度	
メヒシバ		+	4・4	+	4・4	
シロツメクサ		+	2・1	+	2・3	
アカツメクサ		+	1・1	+	1・1	
ウラボシ		+	+	+	+	
ハマスゲ		—	—	—	—	
スギナ		+	+	+	+	
ヨモギ		+	+	+	+	
ナガバキ		+	+	+	+	
ヒメカシ		—	—	—	—	
セイヨウタンポポ		+	+	+	+	
オオマツヨイグサ		—	—	—	—	
ノシバ		3・3	4・4	3・3	4・3	
ヒメジオン		+	+	+	+	
アキノノゲシ		—	—	—	—	
セイカアワダチソウ		—	—	—	—	
エノコログサ		—	1・1	—	1・1	
カラスノエンドウ		+	—	+	—	
アメリカセンダングサ		—	—	+	—	
ヒメコバンソウ		—	—	—	—	
ルリゼキショウ		+	—	+	—	
アカハナユウゲショウ		+	—	+	—	
オランダミナグサ		—	—	+	—	
タチイヌノフグリ		+	+	+	+	
キンエノコログサ		—	+	—	+	
カタハミ		+	+	+	+	
セイバンモロコシ		—	+	—	+	
アレチキ		+	+	+	+	
ミコシガヤ		+	—	—	—	
ハルシオン		+	+	+	+	
ネズミムギ		+	—	+	—	
ヘラオオハコ		+	+	+	+	
ニワゼキショウ		—	—	—	—	
ミノツツリ		+	—	+	—	
アレチマツヨイグサ		—	+	—	+	
コマツヨイグサ		—	—	—	—	
ホウキギク		—	—	—	—	
シナガハキ		—	—	—	—	
ツルマメ		—	—	—	—	
コブナグサ		—	—	—	—	
キシュウスズメノヒエ		—	—	—	—	
スズメノカタビラ		+	+	+	+	
チガヤ		2・3	3・3	2・2	3・4	
オオハコ		—	—	—	—	
ツメクサ		—	—	—	—	
オオイヌノフグリ		+	+	+	+	
コニシキソウ		—	—	—	—	
キュウリグサ		—	—	—	—	
ナガハグサ		1・2	—	1・2	—	
ナルコヒエ		—	—	—	—	
ユメノシマギヤツリ		—	—	—	—	
オオニシキソウ		—	—	—	—	
ヤセウツボ		+	—	+	—	
コメツブツメクサ		3・2	—	3・4	—	
チチコグサ		—	+	—	+	

植物群落組成調査票

調査者名 高沢・高橋

調査地点	2	調査区の概要: 東側、ミニ自然園側の法面、西向きで湿った状況。定期的に刈り取られ日当たりのよい斜面、人による踏圧はない。	調査区		調査区
調査面積	25m2		調査区		調査区
出現種		2016.5.8 群度・被度	2016.10.16 群度・被度	2017.5.14 群度・被度	2017.10.8 群度・被度
ヒメガマ		—	—	—	—
ヨシ		5・5	5・5	5・5	5・5
キシウスズメノヒエ		+	+	+	+
ナガハギシギシ		+	+	+	+
セイタカアワダチソウ		+	+	+	+
ヨモギ		+	+	+	+
スギナ		+	—	+	—
オオジシバリ		+	+	+	+
クズ		+	+	+	+
コブナグサ		+	—	—	—
サンカクイ		—	—	—	—
オオマツヨイクサ		—	—	—	—
ヒメジソ		+	—	+	—
ハッカ		—	+	—	+
ツルマメ		+	+	+	+
チゴザサ		—	+	—	+
ノバラ		+	+	+	+
セリ		—	+	—	+
ヘクソカヅラ		+	+	+	+
ヤブカラシ		+	+	+	+
セイタカアワダチソウ		+	+	+	+
セイバンモロコシ		—	—	—	+
ヤエムグラ		+	—	+	—
ツユクサ		—	—	+	—
タカサヅロウ		—	+	—	+
アセギヤツリ		—	+	—	+
ヒメクグ		—	+	—	+
セイヨウタンポポ		+	+	+	+
アメリカセンダングサ		+	—	+	—
ネズミムギ		+	—	+	—
アオウキクサ		—	—	—	—
ルリゼキショウ		+	—	+	—
イ		—	—	—	—
オオバコ		+	+	+	+
ウラボシチチクグサ		—	—	—	—
ハルノケシ		+	—	—	—
カワラスガナ		—	—	—	—
メアセテンツキ		—	+	—	+
ハナハマセンブリ		—	—	—	—
ハルシオン		+	—	+	—
カラスノエンドウ		+	—	+	—
ウシハコベ		+	+	+	+
コウガイゼキショウ		+	+	+	+
チガヤ		+	+	+	+
ヒメジョオン		—	—	—	—
ハコベ		+	—	+	—
カナムグラ		—	+	—	+
オオイヌタデ		—	—	—	—
キュウリグサ		—	—	—	—
ナガイグサ		+	—	+	—
アレチウリ		+	—	—	—
クソニンジン		+	+	+	+
ヒメムカシヨモギ		+	+	+	+
イノコスヂ		—	+	—	+
ママコノシリヌグイ		—	+	—	+
オシロイバナ		—	+	—	+
ゲンノショウコ		+	+	—	+
ハイコスカグサ		+	—	—	—

植物群落組成調査票

調査者名 高沢・高橋

調査地点	3	調査区の概要:	2-②池の水辺と通路の間にかけての湿った条件。日当たりのよい平坦地、人による踏圧はない。			
調査面積	25m2					
出現種	2016.5.8	2016.10.16	2017.5.14	2017.10.8		
	群度・被度	群度・被度	群度・被度	群度・被度		
ヒメガマ	2・2	1・1	2・2	1・1		
ヨシ	2・2	2・1	2・3	2・3		
スギナ	+	—	+	+		
ハマハナセンブリ	—	+	—	+		
イ	+	—	+	—		
チガヤ	2・3	1・2	2・3	1・2		
セイタカアワダチソウ	+	+	+	+		
コブナグサ	—	—	—	—		
タチヤナギ	+	+	+	+		
アカメヤナギ	—	—	—	—		
フトイ	—	—	+	+		
コウガイゼキショウ	+	+	+	+		
キシウスズメノヒエ	3・3	1・1	2・2	1・1		
ヨモギ	+	—	+	+		
サンカウイ	—	+	—	+		
アメリカセンダングサ	—	—	—	+		
ウラボシチコグサ	—	—	—	—		
ヒメクグ	—	—	—	—		
カワヤナギ	+	+	+	+		
コウキヤガラ	—	—	+	+		
アゼナルコ	—	—	—	—		
チゴササ	—	2・2	—	2・2		
アゼガヤツリ	—	+	—	+		
ヒメムカシヨモギ	—	—	—	—		
オオマツヨイクサ	+	—	+	—		
アカバナユウゲショウ	—	—	—	—		
テンツキ	—	+	—	+		
カワラスガナ	—	—	—	—		
ツユクサ	—	—	—	—		
ノイバラ	—	+	—	+		
オオジシバリ	+	+	+	+		
ヤブタバコ	—	—	—	—		
ヤマイ	—	—	—	—		
メアゼテンツキ	—	5・4	—	5・4		

資料1-1 群落組成表1							
植物群落組成調査票							
				調査者名		高沢・高橋	
調査地点	1	調査区の概要:	VC前面の法面、定期的に刈り取られる南向きの日当たりのよい斜面、遊水池内では比較的乾燥した条件。人による踏圧もあり。				
調査面積	25m2						
2015.5.24		2015.10.11		2016.5.1		2016.10.16	
出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度
メヒシバ	+	メヒシバ	5・4	メヒシバ	+	メヒシバ	4・4
シロツメクサ	+	シロツメクサ	1・1	シロツメクサ	+	シロツメクサ	2・1
アカツメクサ	1・1	アカツメクサ	1・1	アカツメクサ	+	アカツメクサ	1・1
ウラボシチコグサ	+	ウラボシチコグサ	+	ウラボシチコグサ	+	ウラボシチコグサ	+
ハマスゲ	—	ハマスゲ	—	ハマスゲ	—	ハマスゲ	—
スギナ	1・1	スギナ	+	スギナ	+	スギナ	+
ヨモギ	+	ヨモギ	+	ヨモギ	+	ヨモギ	+
ナガバキシキシ	+	ナガバキシキシ	+	ナガバキシキシ	+	ナガバキシキシ	+
ヒメカシヨモギ	—	ヒメカシヨモギ	—	ヒメカシヨモギ	—	ヒメカシヨモギ	—
セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+
オオマツヨイグサ	+	オオマツヨイグサ	—	オオマツヨイグサ	—	オオマツヨイグサ	—
ノシバ	4・4	ノシバ	5・5	ノシバ	3・3	ノシバ	4・4
ヒメジオン	+	ヒメジオン	1・1	ヒメジオン	+	ヒメジオン	+
アキノノゲシ	—	アキノノゲシ	+	アキノノゲシ	—	アキノノゲシ	—
セイタカアワダチソウ	—	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	—	セイタカアワダチソウ	—
エノコログサ	—	エノコログサ	1・2	エノコログサ	—	エノコログサ	1・1
カラスノエンドウ	+	カラスノエンドウ	—	カラスノエンドウ	+	カラスノエンドウ	—
アメリカセンダングサ	—	アメリカセンダングサ	—	アメリカセンダングサ	—	アメリカセンダングサ	—
ヒメコバンソウ	1・1	ヒメコバンソウ	—	ヒメコバンソウ	—	ヒメコバンソウ	—
ルリゼキショウ	1・1	ルリゼキショウ	—	ルリゼキショウ	+	ルリゼキショウ	—
アカバナユウゲショウ	+	アカバナユウゲショウ	—	アカバナユウゲショウ	+	アカバナユウゲショウ	—
オランダミナグサ	—	オランダミナグサ	—	オランダミナグサ	—	オランダミナグサ	—
タチイヌノフグリ	—	タチイヌノフグリ	+	タチイヌノフグリ	+	タチイヌノフグリ	+
キンエノコログサ	—	キンエノコログサ	+	キンエノコログサ	—	キンエノコログサ	+
カタバミ	+	カタバミ	+	カタバミ	+	カタバミ	+
セイバンモロコシ	—	セイバンモロコシ	+	セイバンモロコシ	—	セイバンモロコシ	+
アレチキシキシ	+	アレチキシキシ	+	アレチキシキシ	+	アレチキシキシ	+
ミコシガヤ	—	ミコシガヤ	—	ミコシガヤ	+	ミコシガヤ	—
ハルシオン	+	ハルシオン	+	ハルシオン	+	ハルシオン	+
ネズミムギ	2・2	ネズミムギ	—	ネズミムギ	+	ネズミムギ	—
ヘラオオハコ	+	ヘラオオハコ	+	ヘラオオハコ	+	ヘラオオハコ	+
ニワセキショウ	+	ニワセキショウ	—	ニワセキショウ	—	ニワセキショウ	—
ノミノツヅリ	+	ノミノツヅリ	—	ノミノツヅリ	+	ノミノツヅリ	—
アレチマツヨイグサ	—	アレチマツヨイグサ	+	アレチマツヨイグサ	—	アレチマツヨイグサ	+
コマツヨイグサ	+	コマツヨイグサ	—	コマツヨイグサ	—	コマツヨイグサ	—
ホウキギク	—	ホウキギク	—	ホウキギク	—	ホウキギク	—
シナガワハキ	—	シナガワハキ	—	シナガワハキ	—	シナガワハキ	—
ツルマメ	—	ツルマメ	—	ツルマメ	—	ツルマメ	—
コブナグサ	—	コブナグサ	—	コブナグサ	—	コブナグサ	—
キシウスズメノヒエ	—	キシウスズメノヒエ	—	キシウスズメノヒエ	—	キシウスズメノヒエ	—
スズメノカタビラ	—	スズメノカタビラ	+	スズメノカタビラ	+	スズメノカタビラ	+
チガヤ	2・2	チガヤ	1・1	チガヤ	2・3	チガヤ	3・3
オオハコ	—	オオハコ	—	オオハコ	—	オオハコ	—
ツメクサ	—	ツメクサ	+	ツメクサ	—	ツメクサ	—
オオイヌノフグリ	+	オオイヌノフグリ	—	オオイヌノフグリ	+	オオイヌノフグリ	+
コニシキソウ	—	コニシキソウ	—	コニシキソウ	—	コニシキソウ	—
キュウリグサ	—	キュウリグサ	—	キュウリグサ	—	キュウリグサ	—
ナガハグサ	1・2	ナガハグサ	—	ナガハグサ	1・2	ナガハグサ	—
ナルコヒエ	—	ナルコヒエ	+	ナルコヒエ	—	ナルコヒエ	—
ユメノシマガヤツリ	—	ユメノシマガヤツリ	—	ユメノシマガヤツリ	—	ユメノシマガヤツリ	—
オオニシキソウ	—	オオニシキソウ	—	オオニシキソウ	—	オオニシキソウ	—
ヤセウツボ	+	ヤセウツボ	—	ヤセウツボ	+	ヤセウツボ	—
コメツブツメクサ	+	コメツブツメクサ	—	コメツブツメクサ	3・2	コメツブツメクサ	—
チチコグサモドキ	—	チチコグサモドキ	+	チチコグサモドキ	—	チチコグサモドキ	+

群落組成表2							
植物群落組成調査票							
				調査者名		高沢・高橋	
調査地点	2	調査区の概要:	東側、ミニ自然園側の法面、西向きで湿った状況。定期的に刈り取られ日当たりのよい斜面、人による踏圧はない。				
調査面積	25m2						
2015.5.24		2015.10.11		2016.5.8		2016.10.16	
出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度
ヒメガマ	—	ヒメガマ	—	ヒメガマ	—	ヒメガマ	—
ヨシ	5・5	ヨシ	5・5	ヨシ	5・5	ヨシ	5・5
キシュウスズメヒエ	+	キシュウスズメヒエ	+	キシュウスズメヒエ	+	キシュウスズメヒエ	+
ナガハキシギシ	+	ナガハキシギシ	+	ナガハキシギシ	+	ナガハキシギシ	+
セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+
ヨモギ	—	ヨモギ	+	ヨモギ	+	ヨモギ	+
スギナ	+	スギナ	+	スギナ	+	スギナ	—
オオジシバリ	+	オオジシバリ	+	オオジシバリ	+	オオジシバリ	+
クズ	+	クズ	—	クズ	+	クズ	+
コブナグサ	+	コブナグサ	—	コブナグサ	+	コブナグサ	—
サンカクイ	—	サンカクイ	—	サンカクイ	—	サンカクイ	—
オオマツヨイクサ	+	オオマツヨイクサ	—	オオマツヨイクサ	—	オオマツヨイクサ	—
ヒメジソ	—	ヒメジソ	+	ヒメジソ	+	ヒメジソ	—
ハッカ	+	ハッカ	—	ハッカ	—	ハッカ	+
ツルマメ	+	ツルマメ	+	ツルマメ	+	ツルマメ	+
チゴザサ	+	チゴザサ	+	チゴザサ	—	チゴザサ	+
ノバラ	+	ノバラ	+	ノバラ	+	ノバラ	+
セリ	—	セリ	+	セリ	—	セリ	+
ヘクソカツラ	+	ヘクソカツラ	+	ヘクソカツラ	+	ヘクソカツラ	+
ヤブカラシ	+	ヤブカラシ	+	ヤブカラシ	+	ヤブカラシ	+
セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+
セイバンモロコシ	2・3	セイバンモロコシ	—	セイバンモロコシ	—	セイバンモロコシ	—
ヤエムグラ	+	ヤエムグラ	—	ヤエムグラ	+	ヤエムグラ	—
ツユクサ	—	ツユクサ	+	ツユクサ	—	ツユクサ	—
タカサフロウ	—	タカサフロウ	+	タカサフロウ	—	タカサフロウ	+
アゼガヤツリ	—	アゼガヤツリ	+	アゼガヤツリ	—	アゼガヤツリ	+
ヒメクグ	—	ヒメクグ	+	ヒメクグ	—	ヒメクグ	+
セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+	セイヨウタンポポ	+
アメリカセンダングサ	+	アメリカセンダングサ	+	アメリカセンダングサ	+	アメリカセンダングサ	—
ネズミムギ	+	ネズミムギ	—	ネズミムギ	+	ネズミムギ	—
アオウキクサ	—	アオウキクサ	—	アオウキクサ	—	アオウキクサ	—
ルリゼキショウ	+	ルリゼキショウ	—	ルリゼキショウ	+	ルリゼキショウ	—
イ	+	イ	+	イ	—	イ	—
オオバコ	+	オオバコ	+	オオバコ	+	オオバコ	+
ウラボシチコグサ	+	ウラボシチコグサ	—	ウラボシチコグサ	—	ウラボシチコグサ	—
ハルノゲシ	—	ハルノゲシ	+	ハルノゲシ	+	ハルノゲシ	—
カワラスガナ	+	カワラスガナ	—	カワラスガナ	—	カワラスガナ	—
メアゼテンツキ	+	メアゼテンツキ	+	メアゼテンツキ	—	メアゼテンツキ	+
ハナハマセンブリ	+	ハナハマセンブリ	—	ハナハマセンブリ	—	ハナハマセンブリ	—
ハルシオン	—	ハルシオン	+	ハルシオン	+	ハルシオン	—
カラスノエンドウ	+	カラスノエンドウ	—	カラスノエンドウ	+	カラスノエンドウ	—
ウシハコベ	+	ウシハコベ	+	ウシハコベ	+	ウシハコベ	+
コウガイゼキショウ	+	コウガイゼキショウ	+	コウガイゼキショウ	+	コウガイゼキショウ	+
チガヤ	+	チガヤ	+	チガヤ	+	チガヤ	+
ヒメジョオン	+	ヒメジョオン	—	ヒメジョオン	—	ヒメジョオン	—
ハコベ	+	ハコベ	—	ハコベ	+	ハコベ	—
カナムグラ	—	カナムグラ	+	カナムグラ	—	カナムグラ	+
オオイスタデ	—	オオイスタデ	+	オオイスタデ	—	オオイスタデ	—
キュウリグサ	+	キュウリグサ	—	キュウリグサ	—	キュウリグサ	—
ナガイグサ	+	ナガイグサ	—	ナガイグサ	+	ナガイグサ	—
アレチウリ	+	アレチウリ	+	アレチウリ	+	アレチウリ	—
クソニンジン	+	クソニンジン	+	クソニンジン	+	クソニンジン	+
ヒメムカシヨモギ	+	ヒメムカシヨモギ	+	ヒメムカシヨモギ	+	ヒメムカシヨモギ	+
イノコスチ	+	イノコスチ	+	イノコスチ	—	イノコスチ	+
ママコノシリヌグイ	—	ママコノシリヌグイ	+	ママコノシリヌグイ	—	ママコノシリヌグイ	+
オシロイバナ	—	オシロイバナ	+	オシロイバナ	—	オシロイバナ	+
				ゲンノショウコ	+	ゲンノショウコ	+
				ハイコヌカグサ	+	ハイコヌカグサ	—

群落組成表3							
植物群落組成調査票							
				調査者名		高沢・高橋	
調査地点	3	調査区の概要:	2ー②池の水辺と通路の間にかけての湿った条件。日当たりのよい平坦地、人による踏圧はない。				
調査面積	25m2						
2015.5.24		2015. 10.11		2016.5.1		2016.10.16	
出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度	出現種	群度・被度
ヒメガマ	2・1	ヒメガマ	+	ヒメガマ	2・2	ヒメガマ	1・1
ヨシ	1・1	ヨシ	1・1	ヨシ	2・2	ヨシ	2・1
スギナ	1・1	スギナ	—	スギナ	+	スギナ	—
ハマハナセンブリ	—	ハマハナセンブリ	+	ハマハナセンブリ	—	ハマハナセンブリ	+
イ	+	イ	—	イ	+	イ	—
チガヤ	2・2	チガヤ	1・2	チガヤ	2・3	チガヤ	1・2
セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+	セイタカアワダチソウ	+
コブナグサ	—	コブナグサ	—	コブナグサ	—	コブナグサ	—
タチヤナギ	+	タチヤナギ	+	タチヤナギ	+	タチヤナギ	+
アカメヤナギ	—	アカメヤナギ	+	アカメヤナギ	—	アカメヤナギ	—
フトイ	+	フトイ	—	フトイ	—	フトイ	—
コウガイゼキショウ	1・1	コウガイゼキショウ	+	コウガイゼキショウ	+	コウガイゼキショウ	+
キシウスズメノヒエ	4・4	キシウスズメノヒエ	1・1	キシウスズメノヒエ	3・3	キシウスズメノヒエ	1・1
ヨモギ	+	ヨモギ	—	ヨモギ	+	ヨモギ	—
サンカクイ	+	サンカクイ	—	サンカクイ	—	サンカクイ	+
アメリカセンダングサ	—	アメリカセンダングサ	+	アメリカセンダングサ	—	アメリカセンダングサ	—
ウラボシチコグサ	+	ウラボシチコグサ	—	ウラボシチコグサ	—	ウラボシチコグサ	—
ヒメクグ	+	ヒメクグ	—	ヒメクグ	—	ヒメクグ	—
カワヤナギ	+	カワヤナギ	+	カワヤナギ	+	カワヤナギ	+
コウキヤガラ	—	コウキヤガラ	+	コウキヤガラ	—	コウキヤガラ	—
アゼナルコ	+	アゼナルコ	—	アゼナルコ	—	アゼナルコ	—
チゴササ	—	チゴササ	—	チゴササ	—	チゴササ	2・2
アゼカヤツリ	—	アゼカヤツリ	3・3	アゼカヤツリ	—	アゼカヤツリ	+
ヒメムカシヨモギ	—	ヒメムカシヨモギ	+	ヒメムカシヨモギ	—	ヒメムカシヨモギ	—
オオマツヨイクサ	—	オオマツヨイクサ	—	オオマツヨイクサ	+	オオマツヨイクサ	—
アカハナユウゲショウ	+	アカハナユウゲショウ	—	アカハナユウゲショウ	—	アカハナユウゲショウ	—
テンツキ	—	テンツキ	—	テンツキ	—	テンツキ	+
カワラスガナ	—	カワラスガナ	—	カワラスガナ	—	カワラスガナ	—
ツユクサ	—	ツユクサ	+	ツユクサ	—	ツユクサ	—
ノイバラ	—	ノイバラ	—	ノイバラ	—	ノイバラ	+
オオジシバリ	+	オオジシバリ	+	オオジシバリ	+	オオジシバリ	+
ヤブタヒラコ	—	ヤブタヒラコ	+	ヤブタヒラコ	—	ヤブタヒラコ	—
ヤマイ	—	ヤマイ	—	ヤマイ	—	ヤマイ	—
メアゼテンツキ	—	メアゼテンツキ	5・4	メアゼテンツキ	—	メアゼテンツキ	5・4

表 1-5 大柏川第一調節池緑地の主な植物カレンダー

2013/11/10改正

	2月	3月	春 4月	5月	6月	夏 7月	8月	9月	秋 10月	11月	冬 12月	1月
春の花												
ホトケノザ	●	●	●									
ヤナギ類	●	●	●	●								
ヒメオドリコソウ	●	●	●	●								
ハハコグサ(オギョウ)			●	●	●							
カラスノエンドウ				●	●							
オヤブジラミ				●	●							
オオジシバリ				●	●							
ニワゼキショウ				●	●							
カワヂシャ				●	●							
アゼナルコ				●	●	●						
ミコシガヤ				●	●	●						
ヒメコバンソウ				●	●	●	●					
ハルジオン				●	●	●	●					
ネジバナ				●	●	●	●					
コウキヤガラ				●	●	●	●	●				
コウゾリナ				●	●	●	●	●	●			
夏の花												
ヒメガマ						●	●					
ウキヤガラ						●	●	●				
マツヨイグサ						●	●	●	●			
ヒメクグ						●	●	●	●	●		
ヤマイ						●	●	●	●	●		
メアゼテンツキ							●	●	●	●		
イガガヤツリ							●	●	●	●		
ススキ							●	●	●	●		
秋の花												
イヌホタルイ							●	●				
フトイ							●	●				
エノコロクサ							●	●	●			
アゼガヤツリ							●	●	●			
タタラカンガレイ							●	●	●			
ヌマガヤツリ							●	●	●			
サンカクイ							●	●	●	●		
シナガワハギ							●	●	●	●		
ツルマメ								●	●	●		
チゴザサ								●	●	●		
オギ								●	●	●		
マツカサススキ									●	●	●	
コブナグサ									●	●	●	
ヨシ									●	●	●	
クズ									●	●	●	
タカサブロウ									●	●	●	
ヒメジソ									●	●	●	



花が見られる

表2-1 大柏川第一調節池緑地 鳥類リスト(200310～20180331)

1	キシ科	ウスラ	51	キシ科	ホウロクシキ	101	ツバメ科	コシアカツバメ
2		キシ	52		アカアシシキ	102		イワツバメ
3	カモ科	オオハクチョウ	53		コアアシシキ	103	ヒヨドリ科	ヒヨドリ
4		オシドリ	54		アオアシシキ	104	ウグイス科	ウグイス
5		オカヨシガモ	55		クサシキ	105	エナガ科	エナガ
6		ヨシガモ	56		タカフシキ	106	メジロ科	メジロ
7		ヒトリガモ	57		キアシシキ	107	センニュウ科	オオセッカ
8		マガモ	58		イソシキ	108	ヨシキリ科	オオヨシキリ
9		カルガモ	59		キョウジョシキ	109		コヨシキリ
10		ハシビロガモ	60		トウネン	110	セッカ科	セッカ
11		オナガガモ	61		オシロウネン	111	ムクドリ科	ムクドリ
12		シマアジ	62		ヒバリシキ	112		コムクドリ
13		コガモ	63		ハマシキ	113	ヒタキ科	シロハラ
14		ホシハジロ	64		キリアイ	114		アカハラ
15		キンクロハジロ	65		エリマキシキ	115		ツグミ
16		スズガモ	66		アカエリヒレアシシキ	116		ジョウビタキ
17		ホオジロガモ	67	タマシキ科	タマシキ	117		ノビタキ
18		ミコアイサ	68	カモメ科	ユリカモメ	118		イソヒヨドリ
19	カイツブリ科	カイツブリ	69		ウミネコ	119		エゾビタキ
20	ハト科	キシハト	70		カモメ	120	スズメ科	スズメ
21	ミスナキトリ科	オオミスナキトリ	71		セグロカモメ	121	セキレイ科	キセキレイ
22	ウ科	カワウ	72		コアジサシ	122		ハクセキレイ
23	サキ科	サンカノゴイ	73	ミサコ科	ミサコ	123		セグロセキレイ
24		ヨシゴイ	74	タカ科	ハチクマ	124		ヒンズイ
25		ゴイサキ	75		トビ	125		タヒバリ
26		ササゴイ	76		チュウヒ	126	アトリ科	アトリ
27		アマサキ	77		ツミ	127		カワラヒワ
28		アオサキ	78		ハイタカ	128		マヒワ
29		ダイサキ	79		オオタカ	129		ベニマシコ
30		チュウサキ	80		サシバ	130		ウソ
31		コサキ	81		ノスリ	131		シメ
32	クイナ科	クイナ	82	フクロウ科	オオコノハズク	132	ホオジロ科	シラガホオジロ
33		ヒクイナ	83		フクロウ	133		ホオジロ
34		ハン	84	カワセミ科	カワセミ	134		ホオアカ
35		オオハン	85	キツキ科	アリスイ	135		カシラダカ
36	カッコウ科	ツツドリ	86		コゲラ	136		アオジ
37		ホトギス	87		アカゲラ	137		コジュリン
38	アマツバメ科	アマツバメ	88	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	138		オオジュリン
39		ヒメアマツバメ	89		ハヤブサ	139	移入種	カワラハト(トハト)
40	チドリ科	タケリ	90	サンショウクイ科	サンショウクイ	140		セキセイインコ
41		ケリ	91	モズ科	モズ	141		ベニスズメ
42		ムナグロ	92	カラス科	カケス	142		ブンチョウ
43		イカルチドリ	93		オナガ	143		コブハクチョウ
44		コチドリ	94		ハシボソガラス	144		
45		シロチドリ	95		ハシブトガラス	145		
46	セイタカシキ科	セイタカシキ	96	シジュウカラ科	ヤマガラ	146		
47	シキ科	オオシシキ	97		シジュウカラ	147		
48		タシキ	98	ヒバリ科	ヒバリ	148		
49		オグロシキ	99	ツバメ科	ショウドウツバメ	149		
50		チュウシャクシキ	100		ツバメ	150		

1. 28. オオコノハズク

※ 分類順は日本鳥類目録改訂第7版から引用

表2-2 2017年 大柏川第一調節池緑地の主な鳥たち 初認日記録

＜季節によって飛来する鳥たち＞

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コチドリ		3.5.	●							●		
ツバメ		3.24.	●							●		
キアシシギ				5.4.	●		8.5.	●		●		
アオアシシギ							無し	●		●		
コアジサシ				無し	●							
オオヨシキリ				5.13.	●			●				
コムクドリ						6.29.	●		●			
チュウサギ						7.27.	●		●			
ノビタキ								9.27.	●	●		
コガモ					●			9.16.	●			
ユリカモメ				●					11.9.	●		
モズ				●				●				
ホオジロ				●				●	●			
オオジュリン				●					10.20.	●		
ツグミ				●					11.4.	●		

＜一年中観察できる鳥たち＞

カイツブリ・カワウ・カルガモ・アオサギ・カワセミ・ハクセキレイ・ヒバリ・セッカ など

.....● 繁殖する傾向が現れてきた

2018.03.作成

図2-3 2008年～2017年までの初認日一覧表

	コチドリ	ツバメ	キアシシギ	オオヨシキリ	コムクドリ	チュウサギ	キアシシギ	ノビタキ	コガモ	オオジュリン	ツグミ
2008年	3.16.	3.21.	4.30.	4.28.	7.10.	7.27.	7.26.	9.28.	8.22.	10.21.	11.8.
2009年	3.7.	3.15.	5.3.	5.1.	7.3.	8.5.	7.30.	9.18.	9.12.	10.19.	11.3.
2010年	3.14.	3.14.	4.25.	5.2.	7.3.	8.15.	8.1.	9.18.	9.4.	10.17.	11.5.
2011年	3.19.	3.26.	4.29.	4.28.	7.3.	8.27.	8.14.	10.9.	9.14.	10.21.	11.10.
2012年	3.22.	3.13.	5.4.	5.4.	6.30.	8.13.	8.13.	9.26.	9.5.	10.15.	11.5.
2013年	3.16.	3.9.	5.1.	5.1.	7.1.	8.10.	7.31.	9.18.	9.15.	10.21.	11.6.
2014年	3.16.	3.9.	5.1.	5.17.	6.28.	9.8.	8.16.	9.27.	9.7.	10.18.	11.8.
2015年	3.21.	3.21.	5.5.	5.5.	6.30.	7.26.		9.24.	9.26.	10.22.	11.10.
2016年	3.22.	3.12.	5.2.	5.1.	6.26.	8.5.		10.7.	9.17.	10.21.	11.8.
2017年	3.5.	3.24.	5.4.	5.13.	6.29.	7.27.	8.5.	9.27.	9.16.	10.20.	11.4.